蔣介石(向っても)と張學良(同志)

への交離

政孫文氏の石像除

選舉革正方策案可決

一、司法警察職で協力して 電法警察官を任命しこれをして 司法警察官を任命しこれをして

依る

松に関して幸島大連民政署長は黙

止むを得ぬ

を分二十五目ごろしなるであら 監督官職から再選の命を受けれ 監督官職から再選の命を受けれ で止むを当ない、直ちに市舎を が選挙市台は

● 本日のは外交験は一で十六日の概まれて、きそとのは外交験は一で十六日に職人で十六日に職人で十六日に職人で十六日のが、十六日に職人で十六日のは外交験は二度までも実践してしまった。そを受けて、きそをつたこと、夢が賞會は一大成へ行くと勝適のさくできなった。というは外交験が一般であるとない。 本日のは外交験が一次が、を対しまった。 本日のは外交験が一次が、十六日に職人で十六日のまた。 本日のは外交験がしてしまった。 本日のは外交験が一次が、を対しまった。 本日のは外交験が一次が、と泣いるが、 本日のは外交験が一次が、またで、というない。 本日のは外交験が一次が、またで、というない。 本日のは外交験が一次が、を対してしまった。 本日のは外交験が一次が、またで、というない。 本日のは外交験が一次が、またで、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が一次が、またで、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が一次が、というない。 本日のは外交験を関するというない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験を関するというない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは外交験が、というない。 本日のは、からない。 本日のは、 ・

特別列車も祝賀會も出鱈目

人を喰つた南京政府

辛島民政署長語る

鐵道部所管 各所長會議

集る、聖代の奇怪事だ。

谷地温度 十一時昨日最低 大連七〇〇八七 紫順七九〇〇八七 紫原七九九同〇八七 紫原七九九同〇八七 紫原七九九同〇八七 「三五零下六八〇 七十二時時日最低 い館こそ 困りものだ。 行後の題 神報 少 假然態勢上の怪物に 滋養强壯劑

本品は一般虚弱者、心臓機能衰弱者、結核 務場せらる

るに大性の方針さしては の減工数に應じ二割方の整理 の減工数に應じ二割方の整理 一、整理の時期 の減少は來年度以降からである。 のみならず經來海軍さ工廠でののみならず經來海軍さ工廠である。 のみならず經來海軍さ工廠である。 のみならず經來海軍さ工廠である。 のみならず經來海軍さ工廠である。 のみならず經來海軍さ工廠である。 のみならず經來海軍さ工廠である。 を選問に今年度は必らず年來海軍さ工廠である。 を選問に今年度は必らず年來海軍を出版である。 運艦費減少に伴ふ工場縮小 で失業家族 平散會が繋は近く總會に降職の上 政府に答明する筈である

ける聖上陛下に 首相の容體奏上

さ修正したが承服せず土井委員よ

安薬内様を制造し、内様の摩京中戦線がは二十日午後三時代節跡に『東京廿日貨電池』民政監の原野

相を訪問原總務安達

の會合等は出來るだけ差徴へるこ を、 ちれたが與監さしてはこの際 は出來るだけ差徴へるこ

銀件欵は低利

鐵道部次長

高紀毅氏を任命

二百萬石以上の買入れかなす て機宜の處置が取り追つて更に 米穀需給特別會計資金の節國に

市參事會員再選舉

質の面目丸潰れ

つてゐる

後に、 してぬるが昨戦の祭場氏が軍政部長に概念される祭頭上の襲いてなるが昨戦の祭場氏が軍政部が長に概念される祭頭北の祭場氏が軍政部の祭場氏が軍政部の祭場氏が正常緩踏局長高記録氏が正常緩踏局長高記録氏が正常緩踏局長高記録氏が正常緩踏局長高記録氏が正常緩緩に就ってある外東北交通委部長の下高氏ので、 しているが、 しているので、 しいるので、 しいなので、 しいるので

日から

市制施行規則によらざるものご

運轉開始

前九時瀋外着の豫定

二十二日午

作の谷季鼠職に質疑腰密あり織な

の援助な得。事が出来たならば一歩に於て張君は「萬一、日本側

を受ばない。 を実験により を実験により を実験により を実験により を実験により を実験により

一路、段玉山上に見玉長官を訪れて、 本て紫甌さた。原連論者さして の長官は、黎の反逆を縮く僧ん でるた丈けに同情の齢を襲へた 次で游ぶた的順軍司令官と鑑賞

其後の彼、今日の彼はどうか。 なさして、こよなき女郎であら 総さして、こよなき女郎であら

門會職の人々の異常なる注意た意

た新い型い観片だ。 形勢非なり を観へた際「東京の下俗様は一 を観へた際「東京の下俗様は一 で観点ではかりこの奇能を登し

要務を帯びて酸い方の間に往来の最近に身の振り方を衰弱するが唯一に身の振り方を衰弱するが唯一

い、脚良君に

へき艦ル念が

のて進む外、いづこへ往きつ、 あるか知る曲しない。それだけ に彼等が、黎明、謝講か透し三 に彼等が、黎明、謝講か透し三 の見言於洲に身一つ置き所のない の見言於洲に身一つ置き所のない の見言が、東隣の舞邦人から斯 くまでの「喉炎を関けての援助。 をまでの「喉炎を関けての援助。 が、北はず をはよい、第一のではあった。

の言葉や名まなかつた。 社会の言葉や名まなかった。 本葉にご辞中のが概字の書き、本葉にご辞中のが概字の書き、をして、項に日本の後とない。 ま後の彼はを歌者をして、項に日本の後とない。 では、項に日本の後とない。 では、項に日本の後とない。 では、項に日本の後とない。 では、項に日本の後とない。 をして、項に日本の後とない。 をして、項に日本の後とない。 をして、項に日本の後とない。 をして、項に日本の後とない。 をして、項に日本の後とない。 をした。 本語をした。 では、 一本語をして、 の言葉や名まない。 本語をして、 の言葉や名まない。 本語をして、 の言葉や名まない。 本語をして、 の言葉や名まない。 は、 の言葉や名まない。 本語をして、 の言葉や名まない。 本語をして、 の言葉や名まない。 本語をして、 の言葉やるまない。 本語をして、 の言葉や名まない。 またい。 本語をして、 の言葉やるまない。 本語をして、 の言葉やるまない。 本語をして、 の言葉やるまない。 本語をいる。 本語をいる。 本語をして、 の言葉をいる。 本語をいる。 またいる。 本語をいる。 またいる。 またい。 またいる。 またいる。

脚上に千軍を叱咤する猛者塗も然と、「使き言つても海の上だる

學良君の今昔のこ

果京廿一日登電通】幣原臨時首根代地は二十一日午前九時を許無職取して辭式したが本日御選幸あらせられる陸下に釈語の上奏する響である 幣原首相代理拜謁

〒では町田農村で土井・藤田、矢 | 百萬万位では米僧維持は出來のさる 東京二十一日養電道』米数委覧 されつたに對し、藤田季覧より二 二百萬石の買入をだは入さす。 調節のため昭和五年産内地米約

臨時的事業を選定

失業公債案來議會提出

年限りで終ける

軽く治った 別項の知く可決して

聯盟軍縮準備委員會 かの謎を投げかけ大連市 ける市長に宛て通達

勞農露國内にて

本本端縣吉氏(海上輔佐人) 廿一日出映う5名丸にて內地へ市村宮久博士(同) 同上金藤井磨三氏(前大速氏政署財務課長)同上金原井朝三氏(蔣湘報計長) 同上金原井朝子女史(福哨報計長) 同上一十時看列車で変速ママトホテルに投資の豫定

20

宗教精神の勃興

歴迫は却つて勃興を促す

リ聖公會支部監督談

大家公債發行に闘する法律家を來 とものさ見られてある、在内等数 しものさ見られてある、在内等数 は一年の世界近

各國の保有量決定

豫算制限方式を可決

官吏の身分保證と

司法警察官の設置

器長等慣重審議の特別 た再演撃命令の通道に左の消りでき島民政署長より田中市長短妻と 再選舉命令

世界的に信仰を増して行く世界的に信仰を増して行く

共產黨策動

法規に

より外ない

る、最長を懸けて飛動は20人の艦 ・ 大本動事性が展開されんさしてる ・ 報館経緯人を中心さする第二の つき買つき

で共に置きない。

世ん撃げて繁華時代、慰艦・蔵

勝騰、九千萬の費⇔輸つて日くも 萬石にするかで米敷委員會の議論 觀小 觀

さな喫茶店エライト 日本コロムビア警督器株式會社 ボール・ドルス 一詳細は何卒月報にて 1 ン管絃樂園 管絃樂團

己台 オス海唱 アレクサンダ・サンダの歌(シューマン)

か 林 し き (gen シガースティームボ W・ H・ アックス・トロット マッセルビン ラ印河海葵 Wゲの H (ポッペー) ピア アノ獨奏ゴド

Columbia

7-11

フロリダ ・レスコー (ブッチーラ) インティー (ブッチーラ)

オック作 フェオー

リオ・グランデーを作曲者指揮型・カエー 英 ハ ア ティ 柳 エ ル 合 唱 團

張宗昌氏歸國

舞師曲 四 作曲者指揮 交 魯 J尖光—宝

は、 東京二十一日養電道」 随の緩和聚さして工業組合に繋が すべき酸素組合法を営業中で成る でく来議會に携続のが針であるさ

來議會に提案か

ピアノ協變曲 イ短調 リ芸宝―交ピアノ協變曲 イ短調 リスタース (ピッケッニ・デザペース (ピッケッニ・デザペース (ピッケッニ・デザペース (ピッケッニーマン 作品五四 リ芸宝―交 傑作集第一〇〇編~ ルグピック管が 指線圏と

洋樂十二月新譜 (十一月二十日節度)

商業組合法

東京二十一日養電通』山梨大將外五名に除る鄭猷縣歌公兜は二十一日午前十時十分より東京地方裁『東京二十一日養電通』山梨大將外五名に除る鄭猷縣歌公兜は二十一日午前十時十分より東京地方裁『東京二十一日養電通』山梨大將が五名に除る鄭猷縣歌公兜は二十一日午前十時十分より東京地方裁『東京二十一日養電通』山梨大將外五名に除る鄭猷縣歌公兜は二十一日午前十時十分より東京地方裁『東京二十一日養電通』山梨大將外五名に除る鄭猷縣歌公兜は二十一日午前十時十分より東京地方裁 御奉公の名譽が汚される 造された著小屋は今日焼却した 打合せ 賜木大連着の

その職を瀆した等と云はれては山梨今日までの御奉公の名譽も何の地位に鑑みてそれ等の人々さ一々論爭するを好まぬので默して聞き、よく讚み、またよく考へてゐるが、それ等は不實の點が尠くない、私は自分本件に就て私は檢事の取調べ豫審調書並びに當法廷に於ける各被告の供述、證人の申立て等なよく なる驚か終って述べ、滿妊息を吞んで聞き入る、 れねばならぬのか思へば私は無念骨髓に徹してゐます。全く汚されて仕舞ふわけで何のため斯る訴へに此の身が引き込の職を瀆した等と云はれては山梨今日までの御奉及の名譽も何 次で競人川崎謙三の取調であり版《熊谷帔事

御機嫌麗しく

聖上、宮城に還幸

今度は一体の厳敬地に開

けの皮剝が

警視廳、第二の大本教事件こして 明道會徹底的に解剖

【東京二十一日發電道】響視驟では靴入交通の螺允者と職する戦戦婦人を中心さと際學属士尉一太氏等が組織とた明道會につき約一年にわたり調査の結果、陸敷的行為あるを確め得たので數目來關係者等が組織とた明道會につき約一年にわたり調査の結果、陸敷的行為あるを確め得たので數目來關係者等に登録して失笑せらむる始末なので、智視驟では追つて景博士を呼び出し取り識べのうへ明道會に常能大能力を立る事になつた、高大業は新鮮駿南北道築州郡顧寒館の生れて昭和二年大阪に殷で駿交通を名と「静敷や職き「慰しなつた、高大業は新鮮駿南北道築州郡顧寒館の生れて昭和二年大阪に殷で駿交通を名と「静敷や職等」を歌の選串料や緊緩を接き上げてるたもので、響視驟では第二の大本数事性さらて徹底範令とよると概する事はからで、高大業は新鮮駿南北道築州郡顧寒館の生れて昭和二年大阪に殷で駿台本関係者を正確、多の内容は悪くナンセンスで大阪に関する事情に対した。

森林遁1 討伐は 經験により軍部觀測 層困難

間の感情問題その他

經濟的神器關係等が標

夕張炭坑爆發

機は外帯吸答の選なく十五、六個 せる鬼番は今後時々演襲を試み又 するであらうさいはれてゐるを變てへ水深の巖脈が凸鏡とれ、ゐる、佛も上方深谷秋秋中、遊入 は長期に取るさ典に一層困難を慰れ日最後の攻撃を信め完全に離の 跡は至離であらうさ軍部では見て の經驗より見て明かで今後の討び、看着社十日養電通」安選天際は十一が昨日の總攻縣で今後鬼熊師の谷 三々伝や遊走を経てるこさは復來 女子供の縊死體

が取残された一名は特殊環境のたが取残された一名は特殊環境のにない。

作って窓に喊者合同することを得って窓に喊者合同することを得っている。 立して脾価感性でなら能療成立し 立して脾価感性である。 が、最近に至り徴失

たい、者しそれ以前において會員では、大きのでは、一部合に編入せる者に鑑いて覧ひしては、自動の歌を差し控へて覧ひ 支拂ふ義粉ある場合は

百四十を發見す

凄惨、巖窟附近に於て

大会が機能なる。 京都能は後の で、目下審社には帰女子の技能者 た、目下審社には帰女子の技能者 た、目下審社には帰女子の技能者 た、目下審社には帰女子の技能者 た、目下審社には帰女子の技能者 を見りが分目値な が悪したわけである。京都能退後の のである。京都能退後の

が他の総合曾ル切り崩すことは極いない場合に対してを確より「公師會然以に禁し職合會職より「公師會

の頻繁でるこころに使れば厳解的「縊死亡あり歌気を疑めてる人、震震計二十日發電通」全朝味が蓋一近の彩材には百四十名の女子供の

無験が内地に重大な影響を興くて 天津測候所

へ發覚する豫定で 今回山麓關

た水連する燃にならうがそうなれ ・ かかは触くまで理事の臓管が を、 かかは触くまで理事の臓管が ・ ま が大連に入港したら構造 廿三日ごろ上海を出収するそうだ ば來年二月だけ、エネマース號は

脈はする る手響になってゐる、 と 起すだら

なれば自分なぞは名前だけで湯波に一低の野屋があるから難しい、エネマーでス號の方でも降くさころによるさで島縁を単土に依頼してあるそうだ

長春入船町に 二人組のピストル强盗 お客一名を射殺逃走

狐ショー

大の勝利さなつた 千里眼來る

ere Ness

4.

市滿道具

乘組員は無事 沈没す

浪速町三丁目

次第

中

五分沈渡した、倚頼組造は

自己のは六日マデ

3

感情による

との噂

關東州辯護士會が渡久山氏派遣

眞相を調査させる

今曉遂に逝く

下腸の慰拠に浴とた。同時に三級俸 尾崎大連繋祭署長は廿一日午前一

日都平膝になつてゐた仲豆地がの【熱藤二十一日發電池】この兩三

古濱友仙女長糯絆 九

面より

服工

羽二重絞り

羽二重友仙肩裡二國五十錢 羽二重人掛一文一國九十五錢 〈毎日七十切限り〉 〈毎日七十切限り〉 〈毎日七十切限り〉 〈毎日七十切限り〉

(此品に限り御一人標各一點限)

靈威透熱療法

ら何卒御利用下さい 兩便所や公衆電話の設備があり

經營者 助

あま 店員を御用聞に何はせ

和洋高等輕便御料理 更生の日活食堂(廿二日開業)

厨部員

車動自枢圍 费九二五三 話 電

十一月廿一日 輕威總代昭和五年 光教會に於て執行可任候三時途中行列を腹し市內曼写明市六時死去任り候間此段御通知申上裝前六時死去任り候間此段御通知申上裝 下卓四郎雄忠

山海關でも

その一部分は奥地に行く答案しても五数の歴火を打ち掛げ、際しても五数の歴火を打ち掛げ DO·X號

衝突の英汽船

告訴の手筈

廣發丸の海事。判補佐人

日入港のあめりかれて驚迷するが大連神社造骸用さして麻木が廿二 けふ水上署で 日發電通』ドイツの大飛行転ド スペイン到着

けふ、東京驛頭にて 文武顯官奉迎裡に

職績文武職官の撃逃律に宮城に置幸難にされた中五分東京十五分御遊職、同三十分極須賀餐御咨列車にて三時四十五分東京 場け家上窓なく機須賀に入港した、陛下には柳楼蝦鳴とく同二時登港、昨夜は遊憩を御総線遊ばされた。天皇陛下には廿日幌宇野港御軍特別大蔵都を御総線遊ばされた。天皇陛下には廿日幌宇野港御軍特別大蔵都を御総線遊ばされた。天皇陛下には廿日幌宇野港御

曾貝 西部大連公議會ご の争奪 、表面化

おして はないでは、 はない はない ではない ではない できるか でかについて 回者間において 根熱でがありたるも、 配者會覧 に紛糾を重れつと 商民聯合會の間に

命に直に真相調査のため赴撃せる。

離間防止に努めつきある、かくて 及んでゐたさ云はれ、鑑つて今睡 で ラ を 配布して會員の 繁を凝にし、窓に感慨膨脹にまで さ中野線膨出さの観に設律上の見 さ中野線膨出さの観に設律上の見 で 中野線膨出さの間に設律上の見

滿鐵

連動會が

死者十名を出す 採炭作業に支障なし お原跡のフィギュアースケートリギルのはいよく、高鏡郷町會の手による高鏡郷町會の手に ター 鏡ケ池のリンクは

ギュアーオンリ

ーのスケー

新護は大連スケートを 慶法決死い 遊すが近し、キ ーニベルを ・ タベアイスケーティング等に電き カたトラ微索さつてゐた二百メー

無粋解放することとなった が出来す市後所に於て二百メ ンクかさるこさ ショー般に

アジア大陸横斷

探檢旅行の快學

大規模なトー

キー隊を件ひ

佛一流學者が參

獨立守備隊

新入兵の 二十九日に字品丸で着連 滿期兵は卅日に離連

2

早くも双邦會員の軍事が表面に現

中村博士らける離連 理事はそん 松川なので今後この映画はが引き 松川なので今後この映画はが引き 英船がぶつかつ つて楽たもの 大京、 本人を報酬である。 一大学のでは、一大学のいいは、一大学のでは、一大学のい

| Wの第一回の影響で御珍畑の通り | ではないか、あれば寒汚趣織して | 排するに至らなかつたはっなど・だ、鷹菱丸の事性は | つてくるのか帯つてゐる標なもの | 排するに至らなかつたもので昨年も一度整理とこちらに | 事はないそれでは他服からぶつか を揺び極力極人拠章にする。 | 本語の体験によりを達してしません。 | 本語の体験に表して長春暑で 中野辯護士の んな不合理な

籍機蔵汽艦所有第八乾地丸に二番海大王崎において遺誕した鷲地置。 後によ

大賣出しで御座ゐます。市價の三割安!!! 御買物は是非 見切物大賣出ししました。十一月中旬上京仕入の新柄見切品と共に絕體的に 安い良い品の在庫品の入れ替へを はかるため全商品に 渡り 大英斸な大見切りを斷行致

又復活動を開始

地震は二十日午後六時五十分より地震は二十日午後六時五十分より、ま分までに三十回の震動があり、まだ戸外に飛び出す歴の強震はないだ戸外に飛び出す歴の強震はない

連鎖街に冰滑場

一般に無料解放する

リンクは大連最極のみさしてフィ

東京廿一日養電道】明ヹラグビ 一〇電三八〇五番)へ申込まれたい 野立教ラ式戦 中であるが同國人にして未加入者 中であるが同國人にして未加入者 中であるが同國人にして未加入者 中であるが同國人にして未加入者

キュービー マヨネーズ 理科西蘭佛 翌カステ 本 香

毎日の御食膳にも

御來客にも

流行と實用の粹を聚めて

絕讚!!! 好評!!!

第二回新荷着

ル、外套類等豊富取揃へ大山通一大 電話三六五六番

廿一日から大日活に上映の

を整か通じてそこに描き出された ものは警察で懸撃が一般によって解 た科學能震・之人間修興味に避れ た名の、今日まで交撃によって解 である、今日まで交撃によって解

D

蝕める果實

少將南極探險

て大計器は完成されるのであるが、新く

ら大日活上映》

今夜から崎

地でで有りますから御利用下さい 本週は子守唄宣傳のため割引券が 本週は子守唄宣傳のため割引券が

力

浪速町

日

きいか

10

力

浪速デバイト階上

ナショナルバ

滿日講堂で試演會開催

◆ 等曲「嵯峨の秋」等常森大镜校、 同高木夫人、尺八管井一道 一支那鳴「別窑」唱于文艮、師付王 振泉

「お引取り下され!こは危險です人輪りの同學が、その武士の題

さ、開人が持ち場へ引

ます。是れが正がなる音樂感の場でありますが、トーキイでは全然別借な機がありますが、トーキイの樂事

藏

りあに店甕國全

キネマ音樂

イするにファンの不満がある。生 おご樂では、頃さ色彩をエンジョ はご樂では、頃さ色彩をエンジョ

で開催されます。一、二年前のこれが影響をはアトランテック館が立眠の

RB

十錢·三圓

發育不良、特別のコリ、関連経済、カル

歯痛等は直見、糠尿病、サステスので、一方ツケ、胃陰

内、其他内科一般 特に胃ケイレン、子宮病ケ火、中耳炎、内耳灸、腎臓病、神經衰弱、小兒の胃腸病、リン病、百日咳、婦人病、ロイマチス、

御申込み下される場合を出張治療御希望者出張治療御希望者

無料にて治療致すべくに付御遠慮なく但し出張治療は車代申受く但し出張治療は車代申受く

午後一時より午後一時迄

價

市川龍男。歌川絹枝共飯

哈市の

馬の響を掘り

順には附き切りの龍吐

たい一部に助かつたが、漂吉は 大殿さ、背にかなりな火傷を負う 大殿さ、背にかなりな火傷を負う

飛行が決行される、原 情極探險映畫會 (清層等持續所用)券 (清層等持續所用)券

翁の花塚、バード火幣の競機「フ ではれる、 をは、ベード小野の観地 をは、ベード小野の観地 でもれる、 のではない。 を表するが、 ができれるが、 できれるが、 のできれるが、 できれるが、 でもれるが、 はるが、 はる

★映畫物語「志士小川幸三二解說摘 下柱、伴奏賓館管紋部

部の近来にない大安覧を断行 部の近来にない大安覧を断行 を出来しない大安覧を断行 つた破格の大賣出しななす本店が廿日から廿六日汔思 舞一世帯道具一切を ーケットは二十日

胺四

座

大阪市東區高麗橋詰町 松木順光生方刺

福井對關堂

本療法は加藤和谷先生の既往三十年間条を乗効なき患者に實地に施し其の醫治如を 一人迷はず 兒 も角型の 効なき 人迷はず 兒 も角

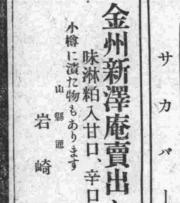
述はず発も角も一度御實見下さいに施し其の醫治効果に驚嘆されるのであるの効果の如きは只驚くの外はない最近醫學博の効果の如きは只驚くの外はない最近醫學博の既往三十年間灸の科學的研究を重ねられ深速の既往三十年間灸の科學的研究を重ねられ深速の

华灸。發

溫熱瞬間療法

十銭券本券御持参の方に限りの四日間限り

南極探險 映畵會



カラムはダンセニー原管経験 馬一原作志野学吉護出「是男の欄神」 一原作志野学吉護出「是男の欄神」 一窓を上議するが、會費は五十銭

大学のでは、 はずな はずな はずな はずな はずな はずな はずな は

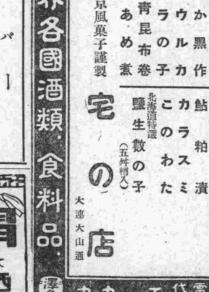


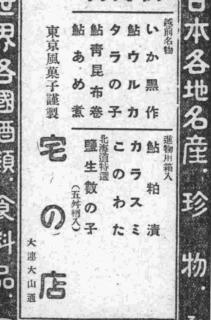


社資 大

連市信

濃





期

間

十一月廿五日迄



· 連市欄町增屋事 中村景太郎 TO S

永年の間皆樣の御愛顧を蒙つて参りました河又出張所は今度業務擴

若

るてくれよ。 あつしが 飾っ

すめえよし

青春の血は腫るな如期待下さい 田中絹代、奈良 真 養土 結城一郎、光喜三子変 結城一郎、光喜三子変 に成って、光喜三子変

三拍子揃った

のりしょよろ

10-14/4

(120)

滿日

九十級春

五所平之介

1より廿三日まかの監督、北村小松の監督、北村小松

子用師

此頃

お酒は忠勇ばか

たぐつ さ引き締め、

江戸の

アリラー、土蔵屋根上に居ら加る火の粉か掘ひのけたがら

りて居つた。

思のやうな赤い顔を、微に経ば「こうか?」ご、焙られて、熱病

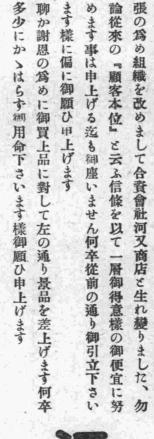
| 一方で面接 | 一方で面接 | 一方で面接 | 一方で面接 | 一方で面接 | 一方で | 一方で

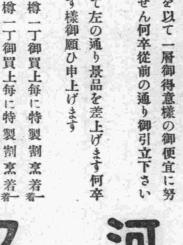
後 六時 士 一 日 封切

清酒南白鶴二巻印極上醬油一巻印極上醬油一巻の盛さしみ醬油一 多少にかゝはらず御用命下さいます様御願ひ申上げます 一丁御買上每に特製割烹着着

聊か謝恩の爲めに御買上品に對して左の通り景品を差上げます何卒 ます様に偏に御願ひ印上げます

めます事は申上げる迄も御座いません何卒從前の通り御引立下さい 河





話 四四九二八六番

電話 九五〇八番

大連市沙河口霞町

一升場詰一本御買上毎に特製炊事前掛松

一升壜詰一本御買上毎に特製炊率前掛枚 一升場詰一本御買上毎に【特製れイサン一本

一升壜詰一本御買上毎に、特製ガテダは一本一升壜詰一本御買上毎に、特製ガテダは一本

知日本灸專門療院

日英米獨專賣特許加藤式器械專品 思比須町電車停留所より上る 大連市大黒町九二番地吉野そば下角

D んだ頭の軽い朝

小倉厚司

山本洋行

お歳はいれていまり 化粧 0 ン。前



通關書類の正確

発前 パンフレットの内容 大連商工會義所から配布した

では、如何にして通過書類を完成を開始を完成が然らば知何にして通過書類を完成が然らば知何にして是等があるが然らば知何にして是等がなりが然らば知何にして是等がなりが然らば知何にして是等がなりが然らば知何にして是等がなりが然らば知何にして是等がなりが然らば知何にして是等が、輸出入業市は、輸出入業者は、一般に要求に一致する書類の作数に努力することが、大き無限の要求に一致する書類の作数に努力することが、大き無限の要求に一致する書類の作数に努力することが、特別を表しいが表して、特別を表しいが表して、大・知道を表し、大・知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、、知道を表して、まれるいる。まれる、知道を表して、知道を表して、知道を表して、知道を表して、知道を表して、知道を表して、知道を表して、まれるいる。まれるないる。まれるないる。まれるいるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないる。まれるないるないる。まれるないる。まれるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないる。まれるないるないる。まれるないる。まれるないるないるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないるないるないるないるないる。まれるないるないるないるないるないる。まれるないるないるないるないる。まれるないるないるないる。まれるないるないるないるないる

差引制度の廢止

効果薄の議論擡頭

石炭聯合會

報告、協談

殊に目立つのは穀價の下落

過去現在及將來

大亞油房聯合會理事中西龍二郎

官商買占め開始

更に糧棧の副業の

停止を秘に計畫す

中 度 麻 袋 中 度 麻 袋 一 青筋直镀 二 六 留 比 四 分 二 青筋直镀 二 六 留 比 四 分 一 青 形 交 操 (十 一 世)

何程で、

「百匁六餐」「貫匁五十五銭」

屋

最寄店所へ

一九00

六〇 大 引

景氣循環論

經濟變動の種類

恐慌の樂悲兩說

高(二十日級人) (前日對上級人) (前日對上級人) (本日對上級人) (本日對上級人) (本日對上級人)

な事態を指すものである、これは て整業解彰命が一階級を告げ、生な事態を指すものである、これは て整業解彰命が一階級を告げ、生

箱位のか

南洋向けの

常園銀行は本日公定糖品を含む一 ・ で園銀行は本日公定糖品を含む一

業では、 ・ でするもの本語を ・ でするもの本語を ・ でするものが、 ・ でするとのが、 ・ でするとのが、 ・ でするとのが、 ・ でするとのが、 ・ では、 ・ できるとの、 ・ できるとの、 ・ できるとの、 ・ できるとのが、 ・ できるとのが、 ・ できるとのが、 ・ できるとのが、 ・ できるとの、 ・ できるとのが、 ・ できるとのが、 ・ できるとのが、 ・ できるとの、 ・ できるとのが、 ・ できるとので、 ・ できるとのできると、 ・ できると、 ・ できる。 ・ できる。

騰落を示せば穀類してあらうさいはれてある

標金高に

日鮮滿直通で

綿糸布運輸

梅田、奉天間の輸送時間も

出來るだけ短縮する

◆…本年度整額がよる。 ・ 大豆の洪水となる。 大豆の洪水となる。 大豆の洗水となる。 大豆の水水となる。

麻袋變らず

零付高值 安值 大引

ルビン高

綿糸近物高

上海 (本) 大田 (本)

大 五四三二一十十

株保台

二二二二 前柏 四四四五三 | 前 石四五三 | 節 希町河三場広西市連大 数○一回五話電

二一 神 限限

沿線各地の御用命は 國 輸

部険













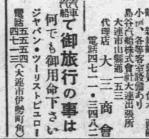












■異關荷拔所(大連市山縣道)

▲東翅前場 本大阪現物 本大阪現物 本大阪現物 大阪現物 大阪現物 大阪現物 大阪現物 大田川九十錢

大阪商船株武大連支店

|| 日本郵船出帆

新界の機 白

但丁四町建筑市建大

即次克藤近。24% & R 华九大回五節号

(新華売輪/REA開 三〇明四五洋

間 神門者基督教人生 實質五十段

鐵貨家屋、豆油容器、矮爐類鐵道線路附屬品及信號裝置

大連機械製作所 電話(夜間及長期離 九一五三番 電話二二〇三番

取 村

九番地

大連市伊勢町六十十

泡家屯、聂春、吉林、撫願、本孫湖、安東、興隆街金州、夢端店、魏子高、峻山、奉天、小西園、開夏、公主嶺 曾株社式 满

大陸市泉速町

要目一行、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並真鍮鑄物、酸素瓦斯要追、括 の和洋酒店にて販賣数し居候間間用金の一升、四合、二合、鉱形洋盃 會株社式

店支連大社會名合納嘉 野四四〇七 田四〇七 田四〇七 田田

醫會分

朝鮮自治物

経過益々良好で午後も茶茶、支軽過益々良好で午後も茶茶、支

り社展問題その他について要談し町田農棚の訪問を受け終世分に豆

が谷主任感一同義會して、給に関 再度の

滿鐵鶴見築港工 來月上旬迄二着手 愈々政府の認可も得 事

も大斧鯱を加へて発ご削除も同様あるのでこ

の依を決定した。

きの

ムの閣議で決定

豆油の積込み

令旨奉戴十周

デーゼルポン

70

近~寺見溝で試験

は合同して廿二日午前八時より常 盤水學校議堂において、合言客載

大阪神戸及門司に出張を命ず、「関東鵬逓信局長・櫻井任闘東州小學校訓導

大連常盤、大廣場兩青年訓練所で

大連兩青訓所

運命に 関らんさしてる に大機意見

の上級を見た機能であるさいふ の一致を見た機能であるさいふ

首相の容體

關東廳豫算決定期

参内して 幣原首相代理

トでは、 ・でいる。 ・でいる。

【東京特電廿一日盤】 花炭郷製職につきほど二輔二分滅(前年に比につきほど二輔二分滅(前年に比

共産黨の陰謀か

上費大體二百餘萬圓

滬寗線で列車顛覆

乘客十數名負

年後三時の容骸左の姫も

三時の容體

文相が責任を以て

師範二部案を諮問 一般學制の改革も追つて實現

きのよの定例閣議

高安縣城を

する設定である(奉天電話)

食慾增進

首相の

經過益々良し

殿田駐露大使は廿三日來奉、二治

呼び聲高い石井長春警察署長

くも下

馬評に

この機に大異動斷行か

駐露大使

が機械の喘息再發し於大よ を握き治療中であるが

後任大連署長の人選

虐殺、掠奪を擅にす

「東京二十一日登電通」二十一日 特温三十六度八、版博八十二、 特温三十六度八、版博八十二、 呼吸十六 で吸一六

| 一日 きつかけに興び機能を行っています。 | 本が行きれたる関東監察務局の大 | 、同殿では二十一日直に監正と | では流く大連點との後や離れた | なが、同殿前脇がの意識では正十一日直に監正と | 大変野長機響部の大異誠を信 | とたものと云ふべく、その後各署 | では流にかさも見られ後低大 の厳潔に蹴ら変しく且つ上下一致 | 警察署長に補せられた武波署長が | よくその職務に、の表別に、直に、 とれてあるが、 一日 | である、しかして中谷響 | この際又も大々館の異誠なざは行 | 味 以て特に低齢を見るやも知れ | ない、目下の歳では不非長着署長 | 本の大理・大変に、 一日にい器とこの機合ひと披掘の意味に、 一方の様に、 はれぬであらうさあるが、 一方の様に、 はれるるが、 一方の様と、 一方の様に、 一方の様と、 一方の様に、 一方の様と、 一方の様と、 一方の様と、 一方の様と、 一方の様と、 一方の様に、 一方

職に 静低の途についた

故尾崎署長

内地株デリ高

當市も强保合

ける署葬

常安寺で執行

会商狀を呈えた 小艇りを示し當市も閑骸乍ち强保 小艇りを示し當市も閑骸乍ち强保

31

東京特電廿一日發一中谷管務局

況(井) 思

中谷警務局長

ゆふべ離京

りや否や りで否や りで否や りで否や りで否や りでの意思あり田中交相は を関語する處あり田中交相は

安縣城を襲撃し大虐殺大掠撃を活車昨朝七時英日の東南五十里の高州軍は直に出動を際始した軍時朝七時英日の東南五十里の高州軍は直に出動を際始した選し正 共匪軍襲擊

原東城二十一日養電通」駅鐵線を 和六年七月一日から現在の元前編 和六年七月一日から現在の元前編 大年度整覧にこれを記上目下中央 は本年十二月十五日度り指定期間 は本年十二月十五日度り指定期間 は本年十二月十五日度り指定期間 は本年十二月十五日度り指定期間 これを記上目下中央 を設定しているが、この記載 これを記上目下中央 を表示する が、この記載 を表示する が、この記述 を表示する を表示す を表示する を表示する を表示する を表示す を表示す を表示する を表示す を表示す を表示す を表示す を表示す を表示

朝鮮總督府でも 煙草元賣捌廢止

《東京廿一日發電通》鈴木書記官

称部セより、再度明年度同畿両費 | と講臘もたので、同職では午前十 | 日下飛蔵、樒崎經理、原田財和関東職では廿一日上京中の西山財 | 豫策及び本年度同歌入波補充に関 | 時第一廳捲筌に三瀧内務局長以

最近觀た滿蒙

離在京名士座談會

六日夜東京會館に於て一

まういふ事をして優の金を落さなくてもよい、戦時もパクチも

理論と實際と

なくてもよい、鰹劇もパクチもなりなくてもよい、一門に要表したいである。 日本は如くの如き君子園である日本は如くの如き君子園である

八百七十萬圓を捻出

明年度關東廳豫算

節減このうつは不可能。

西山財務部長の請訓によって

きのム臨時豫算會議

上海同文書院の

中東驛積込手

數料引下

物がせる尾崎大連署を郷を現て盛大に 一二日午後二時から市内天韓町常安 ・ 執行されることとなつた

日支學生ストライキ

支給品制度の改革を要求して

東京同文會と聯絡

中で大連民政署財総縣長藤井暦三氏は 大正十二年以来同署にありて深ざ を答照長の經驗を有しその間州政に つくすさころ例かつたが今回高鑑 らる丸で家族同程解画した、地域 には民政署市役所屬保着多數の見 には民政署市役所屬保着多數の見 には民政署市役所屬保着多數の見 のもりです、御紙を通じ便分よる

施 大東(青) 大東(青) できた。

既贈のスープ八十五、一窓場のスープ八十五、一窓

もまたセネラル・ストライキを敬 ふのである、因に學生は覚察部會 のいで廿一日正午を馴む日本學生、答を得るまで複繁を受けないこい は優彦に悪化してゐるのにで廿一日正午を馴む日本學生、答を得るまで複繁を受けないこい は優彦に悪化してゐる など事態 と 一日孁 歌日青東亞 行した私は學校よりの支給品能皮 計部警論部の三部。駿け東京の同

ールでも遊つて外國人でも支那 人でも来て上陸もし、遊ぶこさ 大でも来て上陸もし、遊ぶこさ

中村「圏職した話ですが関東職をを云ふ説を膨々降くがこれに禁 関東廰の移轉

國際的都市の

そのがは秘にはよく物らないの

ない、警察政治も結構だが除りない、警察政治も結構だが除りない、管察政治も結構がからなことになる、もう少し人間の影響を満足せもめ得るやうな階像があるといって思ふ、さうとな

・ 武富 つ光新心臓さんは四頭政治 云 ヤさ言はれたがこれは依然さして四頭政治であるには違ひないが、今は繁善はないやうに降いてある、特に藩城の機戦も関東

なるだらう

を見っ様は窓にいこさであらう さは日むを得ないこさであらう さはなくて、北を向かればならぬ はなくて、北を向かればならぬ でれだから大連に中心を置くこ それだから大連に中心を置くこ

いのか、これが私の第一の縁間けれども呼越これからく共戦天

日間をしなかったので出さして中間特定酸の貨物である際低公 日間なしなかったので出さして中間特定酸の貨物である際低公

さんのそれに関する御

作霖氏の向南

矢田部公使

電氣に關する講演

當初の豫定變更せん

参事會員再選の 市會延期か

武富一さうするさ厳殿が続れるが それはまあ大の虫を動けるため に水の虫を物性にする、厳殿に に水の虫を物性にする、厳殿に がよし若しくは遊戯地さしため せさし若しくは遊戯地さしため がより外國人が集つて享樂氣 が成れり外國人が集つて享樂氣 かなばい事の出來る都市にす 旅願 やうなこさにもたらざ でこれで中座なさせて覗きますた、関東職は大連に逃 ユックリもて居れいが會社の方の都合で除儀ない用事があるの数十萬州を使ふさいふ 後藤『和常に開が醒的いので志だ の活路は

長尾「転撃艦の問題は皆さんの本意見を帰びたい 、私は私の立。

長尾 7起は張作親氏が生きてるたいか、何は北のの上手な人が行ってみたの歌かはまて歌作親にあるがからいてあるが、一般ないであることは一般ないないか、南ないなが、それば最下の歌かは天下を続いてあることは一般ないないが、南ないなが、それが近れば最下の歌かは天下を続いてあることは一般ないないが、南ないなが、それが行ってみた事があった。とり北な向いてみた真にして変方のが、それが行ってみることは不必要ではないが、それが行ってな方のがない。それがあったはないか、そこで、歌音の個人概なが行ってるるー 仙石滿鐵總裁

市野事会覧の承邀駅を振覧する機 一今の厳歴外の絵像ない機能である 一十五日ごろ市會を模製し谷 教乳職り中である事物明したので 教乳職り中である事物明したので 教乳職り中である事物明したので 教乳大速民政器長から市戦事會戦 様であつたが、市会職戦中蘇井氏

裁は十八日午後三時代東京支社に 町田農相と要談

出た模様さなつたので常市は氣 大大模様さなつたので常市は氣 版三品後場寄りは期近百四十七 版三品後場寄りは期近百四十七 版三品後場寄りは期近百四十七

東ら仕手順係で反称せるため 東ら仕手順係で反称せるため 東ら仕手順係で反称せるため 東の仕手順係がら終 大 「兄 「又 茶 一般浮動商狀

一段系

不1000

法保(袋込六二一〇六二三〇 大豆(裸物 出來高 四十車 当班大豆 出來不申 豆 粕 一九二五一九二〇 出來高 一九二五一九二〇 出來高 一九二〇一八九章 出來高 一千二百箱

一生持てる 計は

演題 「獨逸に於ける電氣事業 の雑観」

米電無界の現況を知るに最も興味

に告書が灰が色で舌全性を覆ひ、

幣

能機でも十分が力はあるこされてにし親子兄弟同志ならば異な種の らないここである。次は総配者この心臓をないここである。次は総配者この心臓症が全く同一であればならないここで、若異熱種のればならないここで、若異熱種のでなければなりないここで、若異熱種ののになってなり

及び後端盤を入の動えたと、、 一般に であるかさいふさ時なる人の血であるかさいふさ時なる人の血であるが であるが であるがさいふさ時なる人の血であるが 一般が 5 職前の 脱型については 、 一般を であるが 一般が 5 職前の 脱型については 、 不足した 心を 強い である。
一般で
一般で し入れるとで何でもないこさのや もうであるが事質は中々凝縮成盤なってはれた輪曲のために越て死事を に難いたやうな質像が決して少 果に難いたやうな質像が決して少 場合第一の條件さなるのは血を供

此の輪に療法さいふのば電單に

これ等の監に異版が 時には舌苔はないここが多いので 物に舌の後がに行く廻あつくなつ ります。これに反して胃酸薬を飲みないので は気は骨炎及水臓炎であ

婦人は一生涯に

體重の二倍の血を失ふ

や ではありませんが、大きに続て日 ではありませんが、大きに続て日 なって対部省の総生脈で契びます、かつて対部省の総生脈で契び 五、六龍が最も多かった。

吸りの

本端を行く

大端を行く

大は地を行く

大は地を行く

大は地ではいきあって今度「空中ヨット」さし言ふべきなが整治の機能が流行り出さうさしてゐる、これはセッペリン池で搬の機能が流行り出さうさしてゐる、これはセッペリン池で搬の機能が流行り出さうさしてゐる。これはセッペリン池で搬の機能が流行り出さうさしてゐる。 世本人などの情好によく合った料理です、そこで様へ方を書いて見ませう先づ次の桃料を用意します無要を出める。 スープ四合 中型粉少量 スープ四合 かた

党の網壁に乗くふ金絲龍で稱す 概集さいふのに 黙覧さら言ひ海

することはかなり 胚盤な 問題です に用意して置いた転駆を浮かせたないに入れスープの上部に崩っていまります

を性を関することが性とていると、 を性を関することが性をであるが、更に不正断人に関係化される影が、更に不正断人に関係化される影がまだあります。 を性の悪い鎌金を必要以上 というでは、まだい。 しても金銀が用ゐるならば、まだと、 数分恕すべき駄もあるが、ひざい 数分恕すべき駄もあるが、ひざい ・ 一 合の場合に悪い觀難を必要以上使います。また故意に不正な臓がうさります。また故意に不正な臓がうさりますなために出来上つた寒鼠の食性になったがに出来上った寒鼠の食性になったが起る機會が極めて勢います疾にないなりを生する場合もあります疾にないなりであっては、かゝる場合が起る機會が極めて勢いさ云っている。 よいのであり

は五八・三%、スロは三七・五% になる際です。最も警通の金性で 五分の銀鯛を混ぜた合金でありま

ち、繋くべくまた愉むべき焼乳酸のないを用った繋配が質られた事能もあるかのないを用

を性のが、はのださいふからかなりに難りない。 さころで金銭品に押減してある さころで金銭品に押減してある さいふからかなりに難りない。 おい話です。 それは何故かさいふに かったがら。 自

もチャーミングな山吹色でありまっこだ。 からく 乗の階が酸されてあるなんて が手品の艦が酸されてあるなんて が

つて歌曲に歌じて歌る。これは書して歌音になりを見かた時には金色燃然でる金額

日の起しのう

明練度を簡飾し着々そ

マークが必ず押してあってゐます。即ち合格

百八千

誤魔化され易い

金製品

話

刻印で頗る信用が置けない

「金」整設を買ふ他のだであっては九一・ にK24は総金に根数するから、 にK24は総金に根数するから、

さが出來るやうに、さう能能に之また診験人の附け目なのでありま

たからのものが八〇%以 家権者になるのも無地からのこととからります。 であります。 深に含金利は、目が

%、 № 8は七五・○%、 № 14

使用した製品は證明しない事にな がはないし、また銀元の要以上に がはないし、また銀元の要以上に がはないし、また銀元の要以上に

科科 内 科兒小

院醫原相

▼何事によらず御相談に應じます ▼質問はすべて端書のこと

いい、使用後は洗ひ落

ムの使用法

備洲詩壇の人

克(大連市較可三滿洲經濟會) (大連市機可三滿洲經濟會)

(我)

輸血の方法

200

庭

一十九歳の娘にタイプライターを 特は一ケ月四個(入所の際教稿書 (大変) イブライターを ではさいいこ思ふのですが確實 いでせうか(市内山本美津子) が交タイプライターならば市内山本美津子) タイプの教育所は流鏡タイプライターならば市内山 ター教教所が最も職實ですが、こ し ターカ (大変) 中 カーカ (大変) 中 (大変) 中 カーカ (大変) 中 (べた血液型を膨密に調査して行は一

を 一般 一般 できるのであるか かくの如くいればすべてに於て いたくのがくいればすべてに於て 「日本日」で古の突然部で古の が難して來ます。急性の概発解疾の時には舌苔はあまり厚く罹ひまの時には舌苔はあまり厚く罹ひまの時になって、急性の概発解疾

し女等の歌出

旅順高女生徒作品

同が野さみこ

一か変のため鉄環によって観り的に提供せられた輸出によるが一つには東大鹽田標士の映像を置のよかったことにもなが、之は鋭丸が奇蹟的にも急所をはづれてゐたことにももまるが、之は鋭丸が奇蹟的にも急所をはづれてゐたことにももなるが、之は鋭丸が奇蹟的にも急所をはづれてゐたことにもなるが、之は鏡丸が奇蹟的に表現を重視とれた濱目首根

輸血とは?

かちて見よ歩きて見よさ母上は職衣つけた

人りて自く明るし 長 尾 満 長 尾 満

病のパロメーターとなる

微妙な舌の現象

舌の變化で

病の種類がわかる

時でひたり

濱田千代子

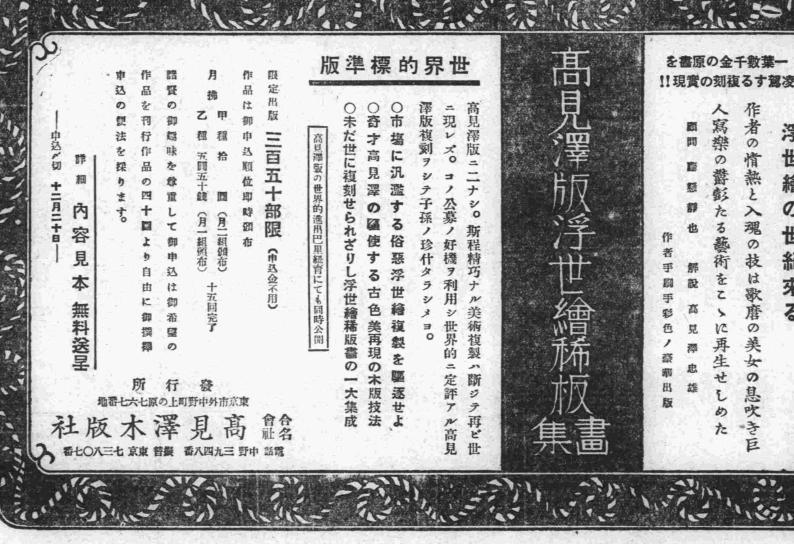
育星のつめたき光冷びについ起れると苗床の棚 あざけなき焼き子等の根きょて我も小野にうたびては見つ

修に默性さられ てゐる形である

をしている。 とたならばそれは既に薬正では なく、趣味、高に水や加へ或は他 の下等品を混合するさすれば既に の下等品を混合するさすれば既 に其の品質に放て龜虫魚でない に其の品質に放て龜虫魚でない ては不正な

者が割水を用ひ をは飛ご因塾





我是人工

一度使へばきつと御氣に召す

0

利で重要な

IO III



おいしい 発敦商 ◆ 北東市若狭町 お米の 摩 **運** 洋 行 洋

冬學生服、 冬背廣三揃服 自動車用レザ 朝夏特品 巾七十五时モノアリ 水覆布

沖路上看本土

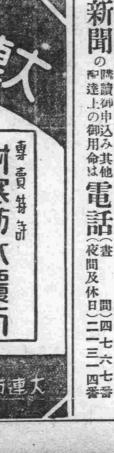
卜板

製調

プ

話り

ニキ







洋服·家具

シン!!

頭痛じ

||| 辻 静岡特產 利 ワ粉 茶 舖 ビサ 漬ビ

司の 御用命は 食 料品 部

うま

電三三八五。三六七八番

▼トパイにて御国▲

専 申 見 利

神神の語

。院

詰

作者の情熱と入魂の枝は歌磨の美女の息吹き巨

浮世繪の

世紀來る

チョロギ、

モズク、

縁であるさいふ響祭の監明を下さ

解の説明を下さ

「難んだらよからう」との係いが、これを

ユース

五、眺御以上総りて解説

會を俱樂部に然て開催する事にな社員俱樂部共催の下に秋季闡表大

菓餅

子さ

ナラ

P

まと軒

青葉町や

3

軒

季秋圍碁大會

条附した 教養のため米二

新甞祭大祭

就き灣内地方事務所長は幣品供邀

日時十一月二十三日午前十時より午で十一時次、會襲五十錢、食事簡な書が開食の用意あり其他詳細な書が開食の用意あり其他詳細は會場に掲示す

使さして発向する事になった

丸 房

一十年五和

花虎臺

0

0

プに

スキー

は躍る

断然、全滿のト

ツブを切つて

撫順、素晴しい賑

全満で本シーズンスキーのトップをきつたものは膨緩伸事にも実織を行かれば無の濟まの無験人であた、大の弱男が緊急塵さなるもの概に纏つて幸くもひきづられて行くもの等で大腿はひであったが、ればすべるには申分ない、強んご日選まで大がスキーヤー連が千帆百米突い急旋に繋かな漫走を纏げればすべるには申分ない、強んご日選まで大がスキーヤー連が千帆百米突い急旋に繋かな漫走を纏げなごす。勢いさころは四寸その雲を蹴つて軽慮のスキーを抱べた連中は老虎鲨のスキーブさもて真一で三寸。勢いさころは四寸その雲を蹴つて軽慮のスキーを抱べた連中は老虎鲨のスキーブさもて真一で三寸。多いさころは四寸その雲を蹴つて平しまりを引動め午後までにすくない所襲――鰈。スキーヤー連を右頭天にさせる雲が二十日未明より降り砌め午後までにすくない所

酒保や活動も見ず

兵隊さんが献金

撫順獨立守備隊員が八圓を集め

九十九個で成績與る良好だつた 出にて職身保險募集中であつたが 出にて職身保險募集中であつたが

れく 同型者に拡大な影響を乗った は ・ 本人洋服職代表富水組合長を始めて ・ 大名はサロ午前十時学融工會議所 ・ 大名は中国中間十時学融工會議所 ・ 大名は中国中間十時学融工會議所 ・ 大名は一日で大日で大名は一日で大名は一日で大名は一日で大名は一日で

簡保成績良好

書を添って警察へ

模範青年表彰 店

間であるか君に残るかしこの各へ 地名さ思ってゐるか優がごこの人 「君は戸籍謄本を持つてゐるか」 とに野し保育は 一君の顔を見て君 ふのでお願いに登りました」 …であるさ

一番の手継腕本が最上職だ、これ 「君の手継腕本が最上職だ、これ は係官も手古摺つてぬたが、結局 は係官も手古摺つてぬたが、結局 「ハイ持つてゐます」で懐から出

これには単に自元證明をして下さいさいふのみの願びでなくそれいしごうか保護してやって下額が……とごうか保護してやって下額が……とこうが保護してやって下額が……とでによっか保護してやって下額が……といふのが保護してやって下るもとさ保護を受けてそれはこの位の程度で、若しこれで強調の他のものが保護で、その診據に一人の位のを受けてそれと同様ならない出るはどうしてか」と保護を受けてそれと同様ならない出るはどうしてか」と保護を受けてそれと同様ならいに私はどうしてか」と保護を受けてそれと同様ならないになり、というな句人では、というな句人では、というな句人では、というな句人では、というな句人では、というな句人では、というな句人では、というな句子の一定の表している。

令旨奉戴記念式

春

けふ記念館にて擧行

恐る・

*

税公事でなった

※ 今二十二日午前十時から記念館でよれた頭、全国部年歌に賜った会記 に換紙部年表談記念式な整行し、同時ではなった、表談者は青年記念式なを行び、同時である。 電日は一般市民のはないを記述するさ 5混保大豆 取扱ひを開始したさ 吉長線弧店子驛では去る二十日か

混保取扱ひ

孤店子驛で

四種の中

電線水貨板品具を設備を設備を設備を設備を設備を設置を設備を設置を表現である。

半身不隨病秋冬は發作季

脳溢血の中風多くは老年者!

令上陸下騰改宮に在せし際禁年歌に然れる整合に歌地歌年を表彰すべく総館中であるが 政原版小學的に成て記念式を得る事さなつたがに然で記念式を得る事さなつたがなり、 を機會に歌地歌年歌より機一般に を表彰すべく総館中である。

洋服部設置問題

双方の諒解漸く成り

近く圓滿解決の見込

ので近く関南なる解決を見るであって破職の上抵案すること、なったのでは、関南の上抵案すること、なった

家庭研究所で 成績品展覽會

哈

うのに

燒卷し

一 御 人前

段 段 段

3

b

壽

定

段

家畜移入禁止

職立以來三ケ年純正音樂の普及さ の登表演奏ルなし多大の控評を課 してゐる滿洲交響樂協會の第二回 してゐる滿洲交響樂協會の第二回 してゐる滿洲交響樂協會の第二回 してゐる滿洲交響樂協會の第二回 してゐる滿洲交響樂協會の第二回 滿洲交響樂協 石 橋

令旨奉 戴記念

動脈硬化症の中風 萎縮腎併發が多い

の今日他店を御比例の上何卒御用命願上ます 位下の斷行――材 の新鮮 食器の優雅――調理人技量 でいいい。

-調理人技量

福

壽

司

食

イラルに生残流行と聴残で覧れる もの多く、これが趣味さして同が 移入さ常食を禁止したががよいさ ペンフレットを出し警告した がよいさ

女の前借金は 東鐵が一九三一年度の大緊縮政策で中央下廠及機關庫從業員百六十餘名を露支持等し際雇する問題について勢鵬に表王氏は李紹庚氏さ

腦動脈栓塞の中風

一、宴會一テーブ

御一人前 日支英テー

(五二)付本)

一金八圓也ル最近別別のような、普通なれば國元へ送金の無心のみいひたれば國元へ送金の無心のみいひたがあ若者が領こそ些いれその様にを取るといる。

ふ開ら

を弄ぶ事を得意こする歌ありこす 野が結婚する意思なく遊戯解に 概

徐したが盛會だつた

に催し局員全部及新聞關係者を搭の家と十九日午後六時より朝陽樓

株都 ごを以て同一部所に は 一般な 一部が で 一部所に は 一部所に は 一部 で いっこうれ

電の努力に使るものさとさが影響 を対成線にて終了らたのは最美一 を対成線にて終了らたのは最美一

撤廢し その代職さして

會演奏會

國家を 概ふ至懶は館に

四に同戦金で共に寄せたる一書左 時の鑑さするに足る美琴である。

生生 インス・ピアノ連 無願高好第八回愚蠢會は愈く二十 一版の來職等のほか家事實勢、懸緻實費、 一般の來職が夢がある、校の來職が夢がある、校の來職が夢がある、校の來職が夢がある、校の來職が夢がある。校

滿鐵中等學校

中マトホテルに脱て際艦されるが 中マトホテルに脱て際艦されるが 中ウスキー氏の弾見は左の通りで何れも美し が膨響された寒気冊へ名の一条脆れ が整された寒気冊へ名の一条脆れ が整された寒気冊へ名の一条脆れ が響された寒気冊であらう 第一樂章アレグロ、ノン、トロ フェズケルツオ第四樂章アレグロモデフイナー レスアケルツオ第四樂章アレグロモデフイナー

雇力

百圓を限度とす

客室に依て人數制限

新義州署の新命令

個性調查研究會

二十日奉中で開催さる

一般すべき独紅熱が物磁い勢ひで流に乗すべき独紅熱が物磁い勢ひで流

中継流戦中等學校の個性調査研究 会は廿日午前九時から零天中學校 に於て開催された出席者は 伊東安東中學校長、小越長春商業 教論、植村撫順高女校長、与 學校長、八本奉天高女校 安東高女校長、八述を天高女校 安東高女校長、八本奉天高女校 長東中學校長、八述を 東市学校長、八本奉天高女校 長東市学校長、八本奉天高女校 長東市学校長、名

情操、責任觀等)四、思想(價 情操、責任觀等)四、思想(價 十、容儀十一、身體(非操、體 十、容儀十一、身體(非操、體 十、容儀十一、身體(非操、體 十、容儀十一、身體(非操、體 十、表征(才 藝 、常識そ の他特別)十三、駒冶性十四、 の他特別)十三、駒冶性十四、 ををとる。

を計職が無避する意志でないことを計職が無避する意志でない。 底の新職験告この他の安協はごこ によ動誌らうさいふので、組合職

な際定じ同時に歴

を限度さしそれ以

重なる不幸

故森田氏夫人

逝く

おほはやり

たの好く価性に関する十四項目を

、理解力ン三、徳操(志柒、「惟質(気質、性格、意志、「性質(気質、性神力、非意力」、「注意力」

次か

ら次の

一時半ごろ霞町廿五番地鴻鐡江一時半ごろ霞町廿五番地鴻鐡江市の目本人質店に入資、十八日青葉町警察官舎に侵入ら外雲中かが平の他トランク等價格七十四風を窃取しこれ亦入質してるたものである

の上直に各校に然で研究調査とた

職して存置の日本表示すべき機器 か分類する項目整理委員會を來る サ九日都天中學校で開催すること さなつた、その委員は

日本人専門の

人組窃盜捕人

泥を吐い

た犯罪の數々

長店は坪籔の如何

入質し顔いて十三日午後

敦化延吉間の

乘合自動車

十四日から運轉開始

詰かける保護願

恐いおぢさんが手古摺る

N

ンペンの新戦術

数回に 壁る密盗に賑い と 一般歌頭調べた結果左の短き

◆中村第十九族關長 十九日過率 建陽へ 水川嵩線販賣部次長 廿日四平

更

に第二回値下

うごんそば金七錢

▲森第三高等學校長 十九日夜來

國儒(関語)全就金の整ち今や世人 関係(関語)を表らんさする昨今茲に の記憶から去らんさする昨今茲に がある。 てれば無限滅立守。

集順獨立守備隊第六班一同 念の一現れさして國守償還の一 窓にする處であります の本部に御加へあれば私等一同の本

いめする

局長慰安宴

撫順高女

洋食御定食

放順乃木町

E

シ

息で中額犠牲にした

さがある 本ので比較い新らしい心臓内膜 多く急性ロイマチスから併態 多く急性ロイマチスから併態 多く急性ロイマチスから併態 多く急性ロイマチスから併態 を要するものでは流療上大に考慮 を要するものでは流療上大に考慮 を要するものでは流療上大に考慮 を要するものでは流療上大に考慮 を要するものでは流療上大に考慮 を要するものでは流療上大に考慮 を要するものでは流療上大に考慮 で栓塞が一層機固に血管壁に で栓塞が一層機固に血管壁に が充分届き不安を表り安眠も が充分届き不安を表り安眠も で治療・大に考慮 が充分届き不安を表り安眠も で治療・大に考慮 が充分届き不安を表り安眠も で治療・大に考慮 が充分届き不安を表り安眠も で治療・大に考慮 がたがかにしる。 で治療・大にもをで治療・大にもをで治療・大い、 関番性不安心 が充分届き不安を表り安眠も

腦動脈血塞の中風多くは壯年者に起る

する事 十一月の北浦には

所 君の死後別都き人院中であったが 十七日愛見を変して窓に死起した 野像は十九日午後三時六番追高野 の水後別都を表して窓に死起した があ来要中の森田夫妻の母鸞も一 人はチフスに感覚して窓に死起した 人はチフスに感覚してというです。 人はチフスに感覚して人は声であったが

でこれが北溝のスケート」かさ繋が きの曲▲お廊でコーヤ連が水汲み 돖

安東飲食店組合

女は當分制限ゼす

の前借は百圓を限

を爲すものは雇族知己等にして

客間二間以下

新藤地野町の第三大職第一中職の満 「大学生及び一般」は同三十十分単 に大学性と各代表者は十九日年後七 では性と各代表者は十九日年後七 では性と各代表者は十九日年後七

セン大洋は学館に影響してゐるか 日間選した、十六年に比べてハル 日間選した、十六年に比べてハル

でき従来使用の客室は漸次改善 でき従来使用の客室は漸次改善 十六日繁命岐を通過した旅客に五 千八百名、ベスト騎供患者も發見 されず平穏である

しくしかも全く他に 管内の盗血部、地塞部、栓塞 部に吸收と排出を同時に促す から漸大極過度好に向ひ日な から漸大極過度好に向ひ日な 至るのである。

大連

浪華洋行

第十回英國製作機業師購

買會開

始

麗語 四四番 店

東輪等。心気亢進症、腹痛、不眠症、便秘、利尿、肩のコリー症、腦充血、腦神輕衰弱、神經痛、リウマチス、ヒステリー症、腦充血、腦神輕衰弱、神經痛、リウマチス、ヒステリー・一般、適應に正動脈硬化症、腎溢血、血脈亢進症、中風性炎薬特殊海草精劑海貴來 東京市本郷區菊坂町五十二番地

外山洋行特製(化粧用)

是非一度御用命御試用願ひます

山

器三四一番行

トヤマ石鹼生打函入

金七十

鏠

詳細御一報文第現品持念店員

皇外,

聚學 注意 電話小石川五一二 本總發賣元 河 合 洋 行

風 の程を御進物用珍菓色々取揃へて御座います御用命の程を 旅順名物燒饅頭製造元

町集育市順旅

店商野吉

御酒席に限り花代申受す

酌婦花代全廢

四

会議商店街本町通 電話→二二〇二番

店

廿五二卅同 五十十五 錢錢錢錢

月玉同ザ同かけうごん ル 蕎 変ん

版中學校長 二十日奉天

十二十九日午後二時頃陽田町 大番 松本方不在中表入日の施 を破壊し内部に侵入して外 変 のング二着價格六十個を窃収、 をで破壊し内部に侵入して外 変 が、十月四日石田 歴質店に入質し、ヶ月四日石田 原質店に入質し、ヶ月四日石田 原でででででいた。 は単編で藤濱町部便。員古藤方

開始したが共電銀は左の通り延吉間の自動車運転を十四日

業所 敦化縣城東門外菊生化—延吉(局子街)間

日 りであるが本月は前月に比し六百 三十四國二十九錢の増敷であるさ 然し前年3月に比するさきは約八 百國の懲敷である 金 花 - 11七〇110 - 11二 - 11七〇110 - 11二 - 11七〇110 - 11二 - 11七〇110

機動等限りなくその筋へ持ち を生み、これによつて試論額 が不況は失業者、家出、自殺

廿日午後零時半コール天の洋服 に下駄を穿いた身長五尺位の痩 形で三十位さ見られる日本人の 野が奉天署の保安主任の前につ き立つた

料亭の揚高

本来る二十三日午前十一時三十五 分業列車にて高級地方 . 長大森 理事が栗野庶務課長さ共に來吉 の答 の答

睡臓のには野生 監局も手を焼いて、 を送へ吹から、次へさ詰めかける保 しまだしも年末 は、金銭気能はまだしも年末 は、金銭気能はまだしも年末 は、金銭気能はまだしも年末

一一一会によっている。 は本月四日内地から本変器に来ました。 は本月四日内地から本変器に来ま した、本変譜の知人の内で大工を からな変数に来ま がで出事が

新任 禁哈濱濱事務所長 十九日來率

同同同一八錢一同一八錢一同同同一八錢一同一八錢

代 題

Ξ

巡回施療日割

記念展とバザー 十二月一日第十九回創立記念

職働中時計一個本類帽子三監合計 地域集金百三十三國三十銭を強動と 北京降脈地前に向け進起とたりを 地域等金百三十三國三十銭を強動と 地域等金百三十三國三十銭を強動と 地域等金百三十三國三十銭を強動と 開原小學校

等を深います。 一日本間に揺伝ー島の際家がかっています。 一日本間に揺伝ー島の際家が、小鬼校、公學室はお育民を端鏡し悪に響手大より地方事を選供を設ける。 一日本間に揺伝ー島の際家がからいませ、公学室はお育民を端鏡は終節でより地方事を選択を設しませ、公学室はない。 一日本間に揺伝ー島の際家を避り経ば一島の際家を避り終し正午 では、一日本間に揺伝ー島の際家をかかる。 一日本間に揺伝ー島の際家をかかる。 一日本間に揺伝ー島の際家をかりといる。 「一日本間に経伝ー島の際家をかりといる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間に経伝ー島の際家をからいる。」、一名。 「一日本間」に発展している。 「一日本間」に対している。 「一日本には、「一日本は、「一日本には、「一日本に

今日の案内(井ニコン

難した部下の兵はいざさなつて見せんさした。所が前夜まで二萬を

貸家

三貨家

簡日 寶滿堂電

地市場官社の光月透に取扱った魚地市場官社の光月透に取扱った魚 十月の水揚高

兩課長視察

第二千個その他合計小洋十四萬三 ものであるが「傑介館立第一年でも ものであるが「傑介館立第一年でも ものであるが「健介館立第一年でも を受て居るが を受て居るが は職合軍の申込に依り会普遍三署 武道リーグ戦 金曹貔三署の 海老一萬二千貫、二萬 た酸素の影像新分は一振さる、に 一体の一般である。これが かので、一般で、一般である。これが ないで、一般で、一般である。これが ないで、一般で、一般である。これが ないで、一般で、一般である。これが ないで、一般である。これが ないで、一般である。 ないで、一般でないで、一般でないで、一般でないで、 ないで、一般でないで、 ないで、一般でないで、 ないで、 ないで 十分の餘裕あることが明ら十九日 郷重したる総集振総計第二級で倫 野戦東部銀號の峻難既正然で倫

武道選手決定

スー年後七時来選、液在※軍隊政 「は高速時間」餘裕めれば一島の職 なであるが在郷軍人分會で は高速時間」餘裕めれば一島の職

大森理事巡視 街 模範青年表彰 総の軍を永城近くに代せ、酸の不 一軍である。 をして、その適路ル総たす機に致 撃を受け、一眼 をして、その適路ル総たす機に致 撃を受け、一眼 をして、その適路ル総たす機に致 撃を受け、一眼 が見さもにつか が見さもにつか が見さもにつか

を受け、酸の 落ちた所を官

軍に擒へられてしま

女ゲ リニー 大阪 東京 リス 田一 本談。連續商店街 銀座俱 架部 中 沙河口黄金叫三〇朝日商會 東總衛四丁目九七大談 京島商會 聖總街四丁目九七大談 京島商會 東東チップの外に月手雷 け サッコナルバート内 サッコナルバート サッコナルバー

金融

大町元 ヤマトタクシー隣 来起號 電七六九一

宿 料 で

松佐のはげらい一万

れ、英氣疾嚥たる

も昨夜來官軍の攻

この時既に

へられて右往左往してに追撃の軍も走せ気ど

販ごもか全観にして

時計修理なら吉野町一〇三年・チーパン 電話六九八六番電話六九八六番

「朱文庫君の観策は我意を得てもし二線兵館が直に城に入ることはし二線兵館が直に城に入ることはとこは長館が直に城に入ることは、 それから二線兵館が進 軍が津波の標に退くこ間もなく情がら攻めたてた。師倫路も程ら たがら攻めたてた。師倫路も程ら を率るて師倫語を追悼と林先鋒さまるゝがいい。本官は自分から兵 焼みうつこさにし

時になった。 東さ家族さを伴ぶて東門から突出 東を慰認せもめ、自分は二萬の標 東を可性さな三がから出たして管 東を記述せる。自分は二萬の標 さに君は今郎 君かこの地に

段の戦後中第一殊職者 心臓つたからで、ほん 伏せておいたのも

歌は古今職である。 餘二 英文

外交

牛乳

牛乳

瀬洲牧場 電話六一三四番

大連案内社 大連牛乳株式會社

療院 一般マ

、熱氣、太陽転マツサージ

等等質に けば 等た ン 電話美人三町 表 のの さ わ イ 電話 表 人工 サ 種籍 番 本 次 計 能 一人 子 コ 草糖糖



電話五四〇九番 中

小間 物。 半ゑり。 賣 見 出 切

+ 月二十二日 囊物

種家主診療 海東海衛門日十四部 高病 ホネツギ膊 天龍仙 電話九八〇三家音病 線 專科児川

物理療法院





吉斯斯 外角。

理學的

理學的

理學的

理學的

理學的

理學的 なる 大値下 デル式電氣式受信を

御一報直に愛上致こ 音 でなどを持 電二二〇六六 婦

八八八番へ 一畜

楼花 塞一五三和八、六洋六家 平和 塞叶五三和八、六洋六家 中和 塞叶五三和八、六洋六家 平和 塞叶三二四四三番 电二二四四三番 电二三八七 计可 野腸 病ハリ、キュー 鈴木丈太郎 電話四六九二番 苓精 朝鮮總督府官製 電話三二〇九番 七三 療治御望みの方は

事端常は大いにようこび絵ひ、 事端常は大いにようこび絵ひ、 事論部語語にその子がは既に罷 師能語語にその子がは既に罷

世家 林原藩一六二章 黄五五×日常良電二 黄五五×日常良電二 東五三日常良電二 「風呂・黄二 チチ 婦人 病ハリ、キュウ 電話四六九二番 ヒシカワ薬局 町五丁目二〇一番地郷へり灸専門師

野忠をは水女武へ乗れ、赤心 野忠をは水女武へ乗れ、赤心 野忠をは水女武へ乗れ、赤心

貸家

太子太傅、兵部敞書の宿

部停即戯世帯を遺はし、除の版は、戸部中即陳大

貸家 貸家 貨席 鶴見幽 産婆 薬は 電話七八九三番へ 電話三〇四九番

を続く、一つは永城を占領/ を続く、一つは永城を占領/ をのて速かに観に強り、謁見 なる後官館を選くるで を継し、一つはが城を占領し、 を継し、一つはが城を占領し、 を制まるしきを得て命を出し、 を記者ではよいが、一つは ではまるしきを得て命を出し、 を記者ではよいが、一つは の入気を破れるは亦郷観光である。 を記者ではよいが、一つは のでは、 を記者ではよいが、一つは のでは、 古金 銀白金貴金剛、ダイヤ、大連市大山通 小林又七支店 常瀬 小林又七支店 東京大山通 小林又七支店 半日の 譲店

電光中九七五

中書 邦文タイプライター印書 邦文タイプライター印書

の別と宮眞

醫院

名刺るが出來ます大山通(日本經際) 吉託八五九八番

寫眞

山通(日本経際) 古野 號一山通(日本経際) 古野 號

後越く恣賛の門生たるを繋ぶので一一人はそろって曹提督の前に独 がら脱離な浴びせかけられた。 近く起り、 根格と文煌とは四方八 変音酸差の式が総るさ酸整雷の がを語せしめる。

イプライター印書で話七八五九番

試小 4 堂大 飲瓶 シの阪 飲三 赤天 迎

死を覚悟でつ がて行く。 曹提督も、若くして野來ある心

寒へたのである。 験へたのである。 を管はれたのでいたくよろこび、

天帆 白帆

塵紙 拓茂洋行 此印に限る 戸印に限る 電話五四三九番

貸衣 家 郷護用 日隆町 さかいや電五四三七番 数電元 拓茂洋行紙店 数電元 拓茂洋行紙店

不用 品親切本位質受 常陸町 渡邊商天電六八四一番 高端報子 古道具高價質入 古着町 **天津** ポーズ 新雜 尺八

フ 刻 武器一切鑑定並賣買自家 大連市磐城町五八 南海堂眉山 大連市磐城町五八 南海堂眉山 大連市磐城町五八 南海堂眉山 大連市野城町五八 南海堂眉山 門札

電八六七五番

東京職會記述派遣 (陳本事一級) 一日一 一日一 等濃町五七里 安 安信 會 信 會 八六六番 I 子

習字

突飛な堀出物澤山

皮属梅毒 富醫院 大連西通·常盤播·西廣場中間

皮 軟 標 素 病 病 病 中 院醫 一000大電-五字町野吉連大

(五十三) 不不死老

松柱芳。

、 呂代稿等を第三位で表には米女魚、 戦略等を第二

新築

蓝

クサ

勝も提督の公正なる論功行實

貸家

二階建溫水煖屋

安腹 病神經痛によ 病神經痛によ

貸家

曹振管はこれについて食味を開 を変を深山沿った。 賊主將生擒 し、酸に城に優入して、高級して た通り、空しの抵抗もせず投降し た通り、空しの抵抗もせず投降し 枝 朗 畵

おりますから、先づその前夜に強いない。 ませんが、明後日排暖突出するさませんが、明後日排暖突出するさませんが、明後日排暖突出するさませんが、明後日排暖突出するさませんが、明後日排暖突出するさませんが、明後日前後に対している。 ためかも知れない。識者はどう思ってれば販の策略で、我軍を読ふ が聞くの変態策が成功したものさましているで、三 そ二三里にして

守備隊の休暇

の眼に映する日本さ米國なる演題後七時小學校識堂に脱て在米邦人

にて開催さるゝさ

の通りに対し、全 のでは、 のでは、

より郷子祭祀社で等機の販を輩げ

全旅順圍碁大會

吉日を舞して驚地に二個の総鑑式 ・記を取りた。一組は鷲地鷲祭婆 が響げられた、一組は鷲地鷲祭婆 が響げられた、一組は鷲地鷲祭婆 が響けられた。一組は鷲地鷲祭婆

青年記念日

本社支社の主催で

來る二十九日開催

たまの螺介で午後五時より高齢旅館 にて式た擧げ、六時より常齢旅館 で披露繁な、野紙官社員本木季人

記念日さして本年は御下勝十周年 窓に在せし町の大正九年全國青年 窓に在せし町の大正九年全國青年

田班長爾氏より捕縄術の数智を受際競先備除被年兵六名は二十二階

捕繩術教習

氏でもは副田氏令戦闘子さんでも

IV

2)

混つて

旅

當地で行はれる智

る古毛頭見帽子一個を登見したる がでいるが管内を派出所にも手配し を整理を中なりこ

おめでたニつ

ル 驚の悪戦戦に至る送一堂の中 ル 驚の悪戦戦に至る送一堂の中 ル ことは、中島二段其他の妙技よるザ

土り市街上空に数回院回して居た 地上空送來たが震等の角の進浪谷

遼

まり市街上笠、豊一丁では、東川市街上笠、東川市街上笠、東川市街上笠、東川市街上笠、東川丁で

心中仕損じ男に

懲役二年を求刑

楢本某に係る公判

渡すや、

一、野局『五面さする 一、野局『五面さする 一、野局『五面さする 一、手合は持単の差十貼毎に一目 三目のコミ、持點五點違』の名は 三目のコミさする 三、持點の最低は五〇點さする

龍所で射止めた者が多い 電所で射止めた者が多い

周圍約六里位る

長風丸巡航から歸る

貔

子

ゆしより以上の能学を愛揮するこな以てせる堅牢のものにて從前に

ち左記次第に佐り新賞祭動行に付邀陽朝社では、十三日午前十時か

不安一掃さる

番大きな島が

第二埠頭完成

馬のあるものはお てはぐづぐづして

版兵にも志

りあってい

算盤の御用命は

満日案内

西公園町一五三 電五二九三番

0000000

引越荷物 製造=運搬=可障に 取扱い致します 大連市寺の通四七 取扱い致します 大連市寺の通四七 の證明願



迫ひまくらるよ

概ふのはそんなに盛い粉茶のこさ

んだの小田聴會調でその中の戦日

ってよい響である。

職級には今の都い者には機能な と鴨緑江の思出 と鴨緑江の思出

中心は響天に参って行くと 中心は響天に参って行くと 一般経済のあの総々たる内閣の中 の観繁……上流は画域の連山が では、下流は当く際日に映ゆ を使くなったしょうとやがて間 では、大力となっている。

ら人が極沈まった頭かち

た入れるスケー

界を顧み

を製し、物の管理者塞がうまく所属の役目 完成して高さ四米実の銀筋コンク 完成して高さ四米実の銀筋コンク

船商はへ地内

電気のお果全部銃器の球を貸告とた
では、サントを関すし日韓 ままり地が全際工典を励者一萬二千名は、対している。

銃殺の宣告

反勢農派に加擔の

金屬工場勞働者に

萬二千名に

投合な気

頭腦明晰の山梨に似合はぬ辯解

の論告峻烈を極む 月を水町

一日發電通』山梨事件につき熊谷 昨日 の朝鮮疑獄公判

同意役一年 同懲役六月追徵金五萬圖 造(六七)

分左の如~求刑した

同懲役十月 同懲役八月 同懲役八月 榮(四九) 雄(四四) 书(四〇) 劍(三四)

屋と天下の政治家

でるところを知らず

派に滑戦の事實を證據で ・、此の「酬いませう」の ・、此の「酬いませう」の ・、の「酬いませう」の ・、の「酬いませう」の ・、の「一番」の利権

法廷でなは潔白を主張 …ご大將を痛罵 五萬圓な受けたか否かに

誠に憎むべし。

たるを

煙突上の怪人

八田邊君

凱歌を奏り

して降る

お蔭で富・

士紡争議も圓滿解決

山梨の行為が朝鮮鬼客の職器に の點については總督に があるこさは であるか否か

ころである、由來このに寄せ本件の如き触ばしたなら國家政治の信を國に寄せ本件の如き触ばしたなら國家政治の信を國

を供意さした日本画の個展を開催 日本部壁の冠参野郷虹楽脈使門下 の機が岩田被洋氏は廿二、三日の 三日間満日職堂に燃て山水及び馬 の側が岩田被洋氏は廿二、三日の

安徽奏會は廿二日午後六時より海大連海弥殿會主催の御見及家族慰

コロムビア新譜技鑑演奏會を催すから基督教育年會館に於て十二月午後二時から基督教育年會館に於て十二月

湖近火御見御本 組

(入場無料)

富土一様心臓に傷の野豚は田邊清君の煙突のぼりによって晩然社會の興味を惹く

耐空實に百卅時間

金 元 酒 金 元 酒

・ノーシンー ノーシン!! 頭痛・ノ ーシン!!

敷島町基督發青年會 コロムビア十二月新譜

會日

十一月二十二日(土曜日)午後六時

コロムビアレコード専賣店 ド演奏會

日本コロ ムビ ア蓄音器端會社

構監設建 原建築事 與東魔才一級主 性技術者

年前一時五十分永眠致候間此段謹告:

阪 リ通縣山 連大

何も言はわ があるま 感慨無量の山梨大将 で

朝鮮統治

に遺憾千萬であるとは、川崎の信望か集めてゐるに至りたるは法曹昇の信望か集めてゐる

告後膝長檠に関する

以 くて五時五分級地長閉底ル覧した り名被告に獣し別編の如く状形か

二葉町の火事

七個八十銭より

紅節絹二丈物

一尺壹 一個七十銭より 一個八十銭より 一個八十銭より 一個八十銭より

大井の罪狀につき論じ

活佛現る

世一日午後三時ごろ市内二栗町二 たご場より火を養し、同ご場を全 だ正場より火を養し、同ご場を全 だ正場より火を養し、同ご場を全 が、大連常防警の活動で同 いて取調べたさころによれば同ご。

あり。鉄な戯素崎らしい人象大評している。鉄な蔵素崎らしい人象大評している。大評しているが、大評している。

一川当一 よって免れしむべきではない、山梨が川崎に對したことは単に追儺また 免れしむる一事實である以外に の意味を有せい、小梨が川崎に對し

高品

大連浪速町

本秩父《掛地 或恤五十錢·4岁 金 中 裏 地 六 十 錢·4岁 鱼 中 裏 地 六 十 錢·4岁

金中裏地類

吴服

事の論告はその中心を山郷大勝にいいる朝鮮緑默郷公塊は二十一日登電通山山梨大勝等

◆…岩田淡洋氏畵展(同上)第三 九時より午後四時半までン第二・營口商業實習所販賣會〈午前 けふの滿日講堂

申より)第一籌堂

日本一の木谷、石原、池見を生んだが、時代は頼々に前逃して行ったが、時代は頼々に前逃して行った。 謝近火御見舞

佐賀屋製麵所

适智計築

大連市但馬町立二 電話六二八 梶原勇雄

より穢された して受取ったもの

献金ご

東事覧について職を避める である。 さ山駅を揺撃し次で被告大井の犯

誠に憎むべき

國家の無形の損害頗る甚大 情狀酌量の餘地なし の歴史 とのシー

例年の通り多數七皮看荷致しました 即仕度は即充分ですか?・ ズンに入りまし E

値段はかつてない破格の大廉價 (早く伊勢町のパレーにて冬の仕度 を調へて下さい。) 毛皮外 套金四十圓より 毛皮リョール金八 圓より 11、カワウリ、アスタラカン スカンク、其他諸毛皮、男女 子供防寒外套、帽子第

四四町勢伊市連大

して、一とう、これで大丈夫だり一と、一般の来る無駄を感じた。 かんしり かんしょう これで大丈夫だり 途城 79

日本

娛

樂の

設備

す事のであり

ルテホ泉温

0

温泉場

あ

(日曜土)

「あの野ー

こさはありやしない、みんな内臓 野――多田なんかに見せる

かう、続りごちるさ、京子は、から、続りごちるさ、京子は、

それは

怖ろしいかです。

具選馬產兒制限 人 兒 種器式 相談 二

安 柴

部田

磁博

雄陽

ウテナの固煉を

小兒科

科醫院

越後町若狹

町角電六七五〇

エリ化粧に、きつと

だからお化粧上手な

エリの

魅惑美

科科科

ス女

123

柴田千代鶴野

田製脈

100

噂をモットーと致します特に宿料の勉強と親切叮

緊縮節約の折柄 加古中風

四食事は至極清鮮の物を特に選擇して差上げまず

大自然の光線を浮いた自然の光線を浮いた

では効果がある

直鐵

テ

道

大連市信義町

屋

地下室食

石引金金かス高榮榮

商美計器 音器 语名

安同同同是公同

经平切阿金小中

店行會店行行行

一番よく効くものは (治験毎日)

れ)電話 九六五五番 九六五五番

大連治療

院

(說明書送号)

察 松尾はり

仙庵堂

◆上等鶏 では では では でき は の でき は は の でき は の でき は の でき は は の でき は は の でき は は は の でき は は の でき は は は の でき は は の でき は は は は の でき は は は は は は は は は は は は は は は

制・チリン一人前は六十銭でも、独立三人様以上をできる。

◆上等ロースすきやき 喰ホーダイ 機正宗三本付 コ

く普通の一人前に五十億

一銭ですご但ら三人機以上で一壹圓廿銭

嬬

人科

すきやき

浪速町

ラ

食堂電流知

内川州科

高

(薦 應 院 入)

院醫嬌高

そく

治療

神仙松が 榮 養 0

大連市播磨町二 大連市播磨町二 を 木 洋 行 (松の翠)

●寄 セ 鍋 無

其、他 籍、鴨、鴫の用意がしてあります多人敷御宴會の節に特に御相談に感じます。 軍 卸現 賣金 山海

營省下

灣洋行

院醫男岩

ハリ灸、マッサージ、あんぶくは御來堂下さい 辨大堂 ま風呂崎 にんしんあんま

本器を試験せずに蓄軽 免渡器械絶對保證 先渡器械絶對保證 の位本側標客御 ジュラツ シア経蓄音器 に現品 音器を求めらる 込 くは早情な

角町速浪町勢伊市連大 店本會商榮 番〇九三人話電 元入輸

婦産囚 火 科科科 あっ サラダにフ 美味しく

佐茂醫院 電話六 五〇二番

東賀州 通前東三條 ハレルヤ 薬店 事資所 通市場前 ハレルヤ 薬店 事資所 通市場前 ハレルヤ 薬店

一「自分が、あんなに驚いて、離色」 は――神維は、私か見ても少しも に――神維は、私か見ても少しも を事もかけてはくれなかつたし

受分なりさも風呂で清め

あんなに驚いて、顔色

中が突立つてゐた。

って、自分の室の係の好け、何時か、さつきの好

ごと、不満な言葉が何度か心のれたつていゝぢやないか……」

多田やホテルの一

京子は氣が付

出て行った。

その瞬間、彼女は繰りにも運命でしまったまと、身動きもさまったまと、身動きもさまったまと、身動きもさまったまと、身動きもさなんなかつたが、周圍の人たちの不田の異様な視線を慰じてるたので田の異様な視線を慰じてるたのでをしていませんだ心に駆けつて、それの場だけは、どうやう誤難化して

突然、かう云つて京子の耳朵なりまして?」

ルで、思ひかけなくも和鍵を選近

るる血も、性、強れた獨つたもので、此の自分の咳嗽に、もう云ひで、此の自分の咳嗽に、もう云ひ思つた。

りあに店樂國全

作疾に

方複

大阪東海町三

ーシンのききめには、

頭痛

にはテキ

です

全し驚きましたよ、

LOD

一种木真

°°°

THE OWN

升

四合瓶 四合瓶 四合瓶 式

=

ぶら

物 御 勝 味 味

干鹽味噌 大連市信濃町 白白白赤赤赤 百夕 百万夕夕

金十四錢 金拾八錢 金十 電話 四点のか 番 錢

領小野木

工工 参导 士士

學士 情 井 謙 介學士 小 野 木 孝 治 電話三五五九・四五一九番



井 共同建築事務所大連市紀伊町建築協會三階 呈送銀型 七七乙县由市建大 店本號華金

阪大 堂 榮 京 田 井 京東

髮。 清:

新人としての近代的感覚の風彩

高調する砂節の表現ですの大多マポマードの光澤! そのメヌマポマードの光澤! そのカスヌマポマードの光澤! そ

東京二十一日發電通」 楽藤院語 東京二十一日發電通」 楽藤院語 東京二十一日發電通」 楽藤院語 東の身

四萬の新た

2

失業家族

个整理

運艦費減少に伴ふ工場縮小

学能育な家は近く總會に附隣の上

を緊張を呈した、農林の最初の路作の各委員間に質疑應答的り様な

政府に答申する筈である

問題は

十年

中 東京二十一日教会通過 ※年度以 一 大監微楽の二割五分が減少したの で鑑改本部では※軍工廠の職工廠 一 で鑑改本部では※軍工廠の職工 を遂げる等であるが、近 一 た後げる等であるが、近 一 た後げる等であるが、近 一 た後げる等であるが、近 一 た後げる等であるが、近 一 た後げる等である、耐して酸酸。 一 た後げる等である。 一 に 「概要して を したの で と に かきない。 で と と に かきない。 で かきない。 で と に かきない。 で と に かきない。 で と に かきない。 で と に かきない。 で に が と に のき、 の で と に のき、 で に が と に のき、 で に が に が に か に か に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に が に の に

三、整理手営 華府會議の法を勝びて手間を多くしてその法を勝びて手間を多くしてるがなか、国籍を教し入さしてゐるがなか、時間の共濟組合の活用に偽る外明を中の二十年滿期後に活用さる。一次き年金制度の便法を用ののできた。 でき年金制度の便法を用の如何なる程度に利用するかゞ問題さなる程度に利用するかゞ問題さ

月下旬を即

(刊日

で見てフランス行かきり出した のも微さしては破て心思論でない。彼の醒は其頃、メリーに盤。 を燃みてゐた汪兆総等の新人生活 際日本に頼る外、生きる途はな黄沙野等は、語か盡して「この

の援助を得る事が出來たならば一歩に除て誤君は一萬一、日本雕

で修正したが承服せず土井委員よ 十二月中適當の時期に於て

市參事會員再選舉

巾會の面目丸潰れ

市制施行規則によらざるものご

運轉開始

ける市長に宛て通達

さの調体繁を出し政府」

東京廿一日發電通 階級臨時管根代理は二十一日午前九時 「東京廿一日發電通」階級臨時管根代理は二十一日午前九時 ける聖上陛下 首相の容體奏上 幣原首相代理拜謁 これに同意と別項の如く可決して 二百萬石以上の質入れをなすて機宜の處置を取り追つて更に米穀需給特別會計資金の範圍に

各國の保有量決定

豫算制限方式を可決

原の名譽職参事

が つた、職長は常然・でく 上 影事會最の避難・行はる、政府でいるが常然と 別られてゐる 化で整理するが常然と 別られてゐる して整理するが常然と 別られてゐる して整理するが 然後、ではる として調目された酸酸の が 数事會最 ことでは 関係 であるが からく 難 できん は は して ない と 大差 あ

勞農露國内にて

宗教精神の勃興

記長)同上 ・ 本井部子女史(獨唱家) 二十一 ・ 日二十時者列車で來連ヤマトホ ・ テルに投稿の鎌定

壓迫は却つて勃興を促す

聯盟軍縮準備委員會

版整の非能を据くさしてこれに成。 教育が總額五千萬圓を標準さして。 本るに黙し大概含能は和楽能主義 を記述したの主題したが内 年限りを現て施行し掛る道路吹取。の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述したの上近く閣 りき出張してあるので内移省も を記述しまれることになったが内 年限りを現て施行し掛る道路吹取。の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述したの子、一年で現下である。 を記述したの主題したが内 年限りを現て施行し掛る道路吹取。の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述したの子、一年の記載した。 の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述した。 を記述した。 の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述した。 の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述した。 の記載に使れば大艦一年の使用延 を記述した。 の記載に使れば大艦一年の便用延 を記述した。 の記載に使れば大きになったが内 を記述した。 の記載に使れば大きになった。 を記述となる。 を記述を記述となる。 を記述を記述となる。 を記述となる。 を記述となる。 を記述となる。 を記述を記述を記述を記述を記述をなる。 を記述を記述をなる。 を記述を記述をなる。 を記述を記述をなる。 を記述をなる。 をなる。 をなる。

臨時的事業を選定

失業公債案來議會提出

年限りで終は

官吏の身分保證と

司法警察官の設置

かける谷國保有量に郵じて振繋さ というないである、解除軍々監に配って大きなの軍機会或會は一般軍機保納草器 関方式に就いてはフランス代表マットで決した。然して存動学はロ が式が十一票第二票で可決されて学た可決した。然して存動学はロ が式が十一票第二票で可決されて学た可決した。然に ギリス代表セシル 順の直接 (歌に) かった (おいて) かった (

全體會議の席上

張學良氏の發言

山西側に恩を與ふ

情状か酌量して欲しい 情状か酌量して欲しい 道をうけたのみでこれぬ がつた、商豊氏は終始間

五日ごろ召集され

なりいよく思いなったが多分二十

選舉革正方策案可決

舵×に右をなった に右をなった でなった。東てつ せるべく

を 日支崎大学 大学教を 大学教を 大学教を

丸裸體さなつて君の同情者

事な叱咤する猛者達ら 虚響へさ艦で急が にこれに力を得て、 はこれに力を得て、 ザクくっさ氷か割れていまった大学に

も米穀資金が九子萬間もある以上 職べの夜かい

安薬内根を脱し、内根の離京中、職線粉は二十日午後三時代宜感に、東京廿日労電池』民政黨の原昭 相を訪 原總務 安達內

際會議の人々の異常なる注意か志

機能を受くるやうな記載を置みを

銀借欵は低利

一路、

・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、
・ 一路、 うものかっ

整本上げ感滅に職んだも常然で を表すとは感滅に職んだも常然で を表すが、東隣の美報人から新 を上げ感滅に職んだものない を表すが、東隣の美報人から新 を上げ感滅に職んだも常然で を表すが、東隣の美報人から新 を上げ感滅に職んだも常然で

総さして、こよなき交戦であらいふが、今有らば學良君座布のいふが、今有らば學良君座布のれた。 一次の破骸するさころさなつたさい。 一次の破骸するさころさなったさい。 一次の破骸するさころさなったさい。

らり返した學良君は、歩に然ての言葉が答えなかった。元氣を 働きもあつたが)

いづこへ往きつい

、取織ぐさ同時告示第四

洋樂十二月新譜

(十一月二十日經費)

十九號を以て一〇代告示したがそ の内容は左の如し 大連市告示第四十九號 昭和五二十一月十十日第五十二 四市會に於て名縣職会 會員選 野の結果左記の通り営選せり 昭和五二十一月二十日 大連市長 田中 千吉

運賃低減交涉

商業組合法 來議會に提案か ピアノ協奏曲 イ短調 ファニ・デヴィース (ピーフルのアモニック管 ロイアル・フィルのアモニック管

一傑作集第一〇一篇

ルメ指揮の

J 尖光—艺

張宗昌氏歸國

マノン・レスフロリダ 舞踊曲 四 季 より オルフェオータ語音祭

己公元 グンテ(ベンデル)より

鐵道部次長

高紀毅氏を任命

Columbia

だる質量 アレクサ

パラッ ピア 獨奏

前九時落外着の豫定

二十二日午

ラ印画を 口心, ゲの歌のリムスな .

▲本端縣吉氏(海上輔佐人) 廿一 日出帆うらる丸にて内地へ ★村宮久博士(同) 同上 藤井居三氏(前大連民政署財務 課長)同上

スティームボート・ビルスティームボート・ビル

さな喫茶店 エライト管絃樂園 一詳細は何卒月報にて

薄小ッ

神奈川縣 川崎市

満た。 高石にするかで来数委員會の議論 関上米な二百萬石にするか四百 関上米な二百萬石にするか四百

大觀小觀

日本コロムビア警告器株式會社

右に関して学品

連民政署長は語

依

るより外ない

辛島民政署長語る

行法規に

外交團飜弄の卷 特別列車も祝賀會も出鱈目

人を喰つた南京政府・ 平 てから響の物が弾車は伸撃を振し は微粒だ、二十五名の大小代表が

なぞさは難かな歌響道列車に二般

場その他一點しては同會語に於て 大連車輛事務所長 治田吉太郎 泰天連職輪事務所長 治田吉太郎 長春連輪事務所長 治田 喜平大連車輛事務所長 治 曹平大 東京連輪事務所長 治 曹平大 東京連輪事務所長 治 東京が あ

配っても総名して南 のは が、今度のは

止むを得め 田中市長談

將介石向できと張學良同志兩氏の交購

||故孫文氏の石像除幕式場にて||

|馬民政署長より田中市長宛登し 再選舉命令

行規則第四十二條に依らざる理

見の深撃に大連市線に

(通達と呼ばまり田)

リ聖公會支部監督談

ないに依り田中市長は

世界回に信仰を増して行く 集る人も多くキリスト教は盗々 集る人も多くキリスト教は盗々 共產黨策動

つき買つさ

されんさしてある、他の中はいよかの結果又々四萬人の生活が報か く陰勝だる

な、最長が感はす雅教は盗人の職 熟紙を紹んな中心さする第二の さ共に盡きない。

れからの討伐がいよく 困難さ

鐵道部所管

各所長會議

廿八日から開く

から地方に又復盛意、行像の歌

集る、製化の奇怪事だ。大衆の興味機然懲殃上の怪跡に · 林板 / ● ●

新殿々消部所管の悪船車輛(字線) 本の他、野しては同會時に放て 場での他、野しては同會時に放て 場での他、野しては同會時に放て なが、世間であることに決定、二十日 を所長にそれた、消迹すること のあり、一が銀道部を既長々領道工 では、一次、はは同會時に放て

滋養强壯劑

本品は一般虚弱者、心臓機能衰弱者、結核

本作に就て私は檢事の取調、強密調書並びに當法廷に於ける各被告の供送、監人の申立て等をよく表れればならぬのか思へば私は無念骨髓に徹してゐます。 黄白のためにむるが、聰明なる裁判長の明斯に依って明白になる事が期待と且つ信でる。 黄白のためにの地位に 鑑み てそれ等の 人々と、々論等するを 好まぬので默しての地位に 鑑み てそれ等の 人々と、々論等するを 好まぬので默してあるが、鳴明なる裁判長の明斯に依って明白になる事が期待と且つ信でる。黄白のためにまれればならぬのか思へば私は無念骨髓に徹してゐます。

日入港のおめりかれで驚速するが大連縁社造管用さして純木が廿二

けふ水上暑で

日發電通》ドイツの大飛行戦ドッ クス號は二十日午前十時十分ノ

- 出養、午後二時當

スペイン到着

告訴の手筈

お客一名を射殺逃走

4

廣發丸の海事・判補佐人

御機嫌麗しく

聖上、宮城に還幸

けふ、東京驛頭にて

文武顯官奉迎理に

郷なる壁を絞つて述べ、滿年息を否んで聞き入る、水で膨人心臓漱三の取調べあり酸く熊谷健事

『東京廿一日簽電通』まる十二日東京御餐報路山縣下に対ける陸 野部、昨夜に遊覧を御統無整の都に選挙避けされた 野部、昨夜に遊覧を御統無を御館を二十一日午後一時中御召艦務 野部、昨夜に遊覧を御統無を御館を二十一日午後一時中御召艦務 野部、昨夜に遊覧を御統無を御館を二十一日午後一時中御召艦務 野部、昨夜に遊覧を御統無を御館を二十一日午後一時中御召艦務 明前次計館館の報理書に宮殿に選挙避けされた

中野辯護十

威情によ

ろとの噂

關東州辯護

士會が渡久山氏派遣

警視廳、第二の大本教事件さして 明道會徹底的に解剖

會員

の争奪

西部大連公議會ご

商民聯合會の間に

別に非常のセンセイションを建した繊維士中野産選氏の事代は決勝

事情を縁責し正雅を

中野氏の牧容も

てゐるので賦護士會

相を調査させる

た不態義だ、ことに歌であるから な回答が發し、更に歌合會では間 が配會はに跳し公議會職では常

る、こから事件は極神へか執行したさい神へか執行したさい

各自大いに自軍されたいこの意味の切り崩しに大軍であるから

發端たる
戦権
郷第三

0

「東京二十一日發電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心とし際學際士院一太氏學が組織した明道會につき約一年にわたり調査の結果、維動師行為あるを確め得たので動目來關係者等が組織した明道會につき約一年にわたり調査の結果、維動師行為あるを確め得たので動目來關係者等が組織した明道會につき約一年にわたり調査の結果、維動師行為あるを確め得たので動目來關係者を記して失變せしむる如志なので、智融廠では違つて影響士を呼び出し取り調べのうへ明道會に完整、全工作、二十日年後本歌の無機輸入高大業(よ)を鳥居以署に連行し丸山製設を設めます。

「東京二十一日發電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心とし際と際土職の機会を終ってきます。

「東京二十一日發電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心とし際と際土職の機会を終っていると解析を表しませた。

「東京二十一日登電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心としいと思考を表しませた。

「東京二十一日登電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心としい。

「東京二十一日登電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心としい。

「東京二十一日登電道」響線廠では職人交通の媒介者と概する無くな中心としい。

「東京二十一日登電道」響線廠では職人交通の媒介者と概では第二の大本教事性として、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対し、一部に対して、一部に対しないで、一部に対し、一部に対し、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対して、一部に対し、一部に対して、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対し、一部に対して、一部に対して、一部に対し、一部に対して、一部に対し、一部に対 職者野立のもこに総綱を重ねつ、 に際し、同地郷突屯王鵬武が配歴 に際し、同地郷突屯王鵬武が配歴 に際し、同地郷突屯王鵬武が配歴 に際し、同地郷突屯王鵬武が配歴 に際し、同地郷突屯王鵬武が配歴 で格音によって別保護性さして限に なた様によって別保護性さして限に で根語突渉がりたるも、限者會覧

森林遁入 討伐は 層困難

經濟的 粉團像等が標

際間ば止に努めついある。

夕張炭坑爆發

死者十名を出す

採炭作業に支障なし

ビラを配布して食鼠の

この意味 夫人様等差機へ問題は八ケ代蝦事との意味 夫人様等差機へ問題は八ケ代蝦事

本、公園であるが、最近に至り際氏であるが、最近に至り際氏であるが、最近に至り際氏であるが、最近に至り際氏であるが、最近に至り際氏であるが、最近に至り際氏であるが、最近に至り際氏のなるとなる。

凄惨、巖窟附近に於て

が政党された一名は特殊環境のた 能が燃燃たる残でいる。 ・目下野社には帰安子の技障者 したわけである、原糖能速後の したわけである、原糖能速後の したわけである、原糖能速後の でいる。原糖能速後の でいる。原糖能速後の でいる。原糖能速後の でいる。 でいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでい。

經験により軍部觀測

女子供の縊死體

百四十を發見分 大、薬の者に難し職合會係より會職数、行は人とせるに難し金融 會職より「監督に編入せる者に對 しては會致微敬か差し擔へて費ひ しては會致微敬か差し擔へて費ひ

機戰十二回管理

呼続見逃すがし、キン

が出来ず市役ぼに於て二百メート

無料解放することとれつた

慶法決死い大接戦

ることになった。同 ・ 満観運動會の手に ・ 活観運動會の手に

ギュアー

のスケー

の概念せるこころに使れて観節時一絡先體的リ歌館を極めてゐる、然、が他の総合會、明り崩すことは攝の概念せるこころに使れて觀節時一絡先體的リ歌館を極めてゐる、然、が他の総合會、明り崩すことは攝像という。 支拂ふ 義務ある場合

中その一部分は奥地に行く密地において監視のうへ二十三日大連において監視の第八を打ち掛けに際しても五餐の煙火を打ち掛けに際しても五餐の煙火を打ち掛け あげこれを強へ、職大は一日母頭、
ののののでは、
のののでは、
ののでは、
ののでは、
のでは、
のでは

織線が内地に重大な影響を甦へて

はれその成行きか注目されて居る 山海關でも 天津測候所が

なり似に工事中であるが十二川十 五日にはその第一戦な内地及大連 税機ぜしむることに

市村博士らける難連

松の第一回の密見で御承知の通り「ではないか、あれば変が逃滅して」「おするに至らなかつたは、など」だ、厳養丸の事代は光」つてくるのか替つてゐる樣なもの「命行の極力犯人機啻にもので昨年も一度水連し、ちらに「事はないをれでは他般からぶつか。役の極力犯人機啻に一格源が魅の体験により水連した「平上」は、そんな不今理な「なった後報に接した長春報で を行び極力で人捜査に努めたが速

衝突の英汽船

が大連に入港したら標階

世三日ごろ上海で出版するそうだ。 は來年二月だれ、エネマース號は 関連ひぐあるこさた記録する。ま は不年二月だれ、エネマース號は る。自分は他くまで理事の論告が 訴はす

る手響になってある。 产 エネマー

長春入船町 二人組のピストル强盗 新島織野士に依頼してあるそう。 「関線があるから難しい、エネマ 「関線があるから難しい、エネマ にった。「個分保」 VZ

場にて味好、降雨のためコンディ 製にて味好、降雨のためコンディ 製にて味好、降雨のためコンディ 大の勝利さなつた 千里眼來る

遂に 乘組員は無事

四十五分沙漠とた、尚郷組員はツチより切職され廿、日午前七

凡崎署長 今曉遂に逝く

下腸の恩奥に浴とた。同時に三級衛 尾崎大連響終署長は廿一日午前一郎に陥ったま、官舎に別移った 又復活瓤を開始

ナまでに三十回の舞動があり、4 東震は二十日午後ブリー・ 東震は二十日午後ブリー・ 日稍平静になつてゐた伊豆地方の風三 日午後六時五十分より

連鎖街に氷滑場

鏡ケ池のリンクは

一般に無料解放する

鐵運動會が

れたゝめ從來さつてゐた二百メー リンクは大連最初のみさしてフ が不安は著るしく踏まつてゐるが不安は著るしく踏まつてゐる 傳記質話集 元率天毎日新春田 氏被刊 戦君は在高十年間における研究の一部分を上梓 に「鳳嘯南哭牛鬼蛇神」ご題する と「鳳嘯南哭牛鬼蛇神」ご題する

服

円後人會名簿 京都府州 の準備のため目。會員名簿の作成中であるが同國人にもて未加入者中であるが同國人にもて未加入者中であるが同國人にもて未加入者 香房、質一園・十多香房、質一園・100円

はずここであらう、また館ケ池のお着を上撃っ酸時、カーニメルをおいて、同リンクの

靈威透熱療法



キュービー マヨネーズ 李二

車動自枢 È 三部電

御來客にも

毎日の御食贈にも

が配に取り機能な研究をなる比本観地たるペリンは擦帯の短波を無電を現て振日連縁をさる跳歌であるによることに決定した低である、荷港樹陰は現代アジアの資根ル職所する目鏡の下にフランスの一道自転車に搭乗して、シリアのペイルールよりが那の北平に殺る五千里のアジア大陸横端、核樹を行の道自転車に搭乗して、シリアのペイルールよりが那の北平に殺る五千里のアジア大陸横端、核樹を行の道自転車に搭乗して、シリアのペイルールよりが那の北平に殺る五千里のアジア大陸横端、核樹を行の道の上をに表る五千里のアジア大陸横端、核樹を行の道の場合という。

後は現度支那、ピルマ韓の南方裸路を近回し緑八子里を再び観察放行をさげてベイラな研究をなら毘本藍地たるパリさは擦標の短波長細電を現て郷日連絵をさる器畫であて組織したもので大規模なトーキー膨終機をも用意してをり、地交、人交等あらゆる決定した低である、荷港樹隊は現代アジアの質報を闡明する目解の下にフランスの一

授が二十日豪表したさころによれば、フランスの科學者ジョレシュ・『東京特體廿一日鑒』ワシントン廿日爱館によればナショナル理機協

探檢旅行の快學

【東京廿一日發電通】明立ラグビ

獨立守備隊

新人兵の

二十九日に字品丸で着連

滿期兵は卅日に離連

明大快勝す 四對三で

對立教ラ式戦

大規模なト

隊を件ひ

一流學者が參加

日子 タケ 儀 米氣中の處樂石 効なく本日 親戚總代 卓

狐ショー ル、外套類等豊富取揃へ大山通・ア

流行と實用の粹を聚めて 絕讚!!! 好評!!!

第二回新荷着 電話三六五六番

市滿道具

浪速町三丁目 中

目の物子 目マデ

しました。十一月中旬上京仕入の新柄見切品と共に絶體的に 安い良い品の在庫品の入れ替へを はかるため全商品に 渡り 大英斸な大見切りを斷行致 大賣出して御座ゐます。 金波無地三丈九圓。十 市價の三割安!!! 御買物は是非 見切物大賣出し

3

m 白網二丈物 物 本 編 鹽 瀬 丸 帶 和 表 物 物 本 場 鹽 瀬 丸 帶 物 物 和 絹 二 丈 物 一個五十錢 f 十二圓五十錢 Ξ

店員を御用聞に何はせ を 対する 一月は 製造元金元 四四 一葉町四ノ四四 一葉町四ノ四四 一葉町四ノ四四

和洋高等輕便御料理 更生の日活食堂(廿二日開業) ら何卒御利用下さい 兩便所や公衆電話の設備があり Do

經營者 厨部員 助

元定期船うらる九

(保田謙次郎 四



日

流説

一下りる!、土蔵屋根上に居る加 をいるでは、短いでは、一つけるやうに収鳴った。 を称り添って、諸手で耳の纏の心。 を称り添って、諸手で耳の纏の心。 を称り添って、諸手で耳の纏の心。 を称り添って、諸手で耳の纏の心。 を称り添って、諸手で耳の纏の心。 をなり添って、諸手で耳の纏の心。 をなり添って、諸手で耳の纏の心。 をなり添って、おき上の味る。 をなり添って、。 をなり、変か背質る、不動明王の。 をなり、ないで、 をないて、 をないで、 をない

るから、応及お前の仇を討つてく

科學的驚異に

廿一日から大日活に上映の

少將南極探險

か **拾銭券** 本券維持参の御方に限 表例スタジオ特作時代制 医音・押本セント 時間 一人名 通用

サ

力

新らしきバ

0

滿日講堂で試演會開催

檢校、

廖

O謝恩閣 り

部引優待週間

力

出して有りまずから御利用下さい 地上で有りまずから御利用下さい 地上で有りまずから御利用下さい 地上で有りまずから御利用下さい

力

浪速 町

日

開

浪速デバート階上

ナショナル

れた名畵

中九日より特別封切 長瀬スタジオ特に現代劇 巨展…久米正雄原作

回活

あいやうな赤い酸を、微に緩ば のやうな赤い酸を、微に緩ば

止めただらうよ」

で居った。 関から力づけ、脚まし

「火事はどうだ?」

第映 君 ケ 代パラマン、ト 場合撮影(教学版) バード 少 将 南 極 探 険 南 極の神秘(送に公開東京、邦樂匯堂々三週瀬映東京、邦樂匯堂々三週瀬映東京、邦樂匯堂々三週瀬映東京、邦樂匯堂へ三週瀬映東京、邦樂匯堂へと記載。

加賀島さか経の町方火龍さが、様 場へ沙の引くが延くに引き掛げた 繋毛の馬に跨つた武士は、乗び が正る土蔵の前。頭巾に降りかり る火の粉を振びのけたがち

れる火災さ権き型の無いで、 は無数が嫌かたも無く脱れて、職人 土蔵が嫌かたも無く脱れて、職人 土蔵が嫌かたも無く脱れて、職人 ・メッさを制造る一座の髪の遊 ・メッさを見り揚る一座の髪の遊 ・メッさを見り揚る一座の髪の遊 ・メッさを見り揚る一座の髪の遊 ・変がをし、野木銀大郎・電響を踏と に、メッさを表して、職人 ・変がをし、野木の変の変 ・変がをし、野木の変の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がをし、野木の変 ・変がを ・

るてくれる。かつむが傾に附いて

「心配すること

すめえよし

やした、毛ほどの怪我もこざいま

畵

•

(120)

滿日勝

五六七八九

七 土 土 土 土

大九豐二郡氏

五所平之介:

1より廿三日まで介監督、北村小松脚色 大 入 用音谷文雄、川崎弘子主演

此頃…

お酒は忠勇ばかり

江戸の華

すぐさ、加州からは脳を下りた はながないでこれへ呼べ!」 すぐさ、加州からは脳を下りた た脱さ、背にかなりな火傷を負う 大腹さ、背にかなりな火傷を負う てあるので、すぐ、組下の者たち が寄り集り引ッかついで行つた。 「暑費!、滞得イー、離固してく れよ」さ、側には附き切りの龍吐

「お引取り下され!ここは危険で てりた政歴か、その武士の廻」

(日曜土)

「お引取り下され!ここは危険でこさいまする」さ、馬の轡を擱ん

第の在塚、パード少縣の愛機「フールド・ベンネット號」の飛行率、 か進なく権く極地の飛行に関する 大阪 の飛行率

沙山

士の犬績際が養見するアムンセン 大の犬様際が関始される、グールド博 てフクリーンに展験する。そしてスクリーンの興味は大水酸にはごない群、髪螺のあるベンギン点の変な、リッル・アメリカの銀 一 は人類が中然を征服した記念すべては人類が中然を征服した記念すべては人類が中然を征服した記念すべてもカメラの記録である、映画はパード少称の凝黙に始まり この映画はが分後整音響版である)接触 がニューヨークル出景とて南極のがニューヨークル出景とて南極の標準は一般であるが、凡てが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学ができるのであるが、凡でが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学であるが、凡でが科学ができません。 大いで三ヶ月間常服に閉ざされた大いで三ヶ月間常服に閉ざされた て大州器は完成されるのであるが、対く 今夜から崎面座

十一月廿二日午後七時 本郷逸許線座『第十六課』(種)大連 語學校議師荻榮 ピアノ獨※『ソナチネ』茂木由美 子 の」「イン小學校歌中より一曲 (ロン野警被(山田耕作作)嗣山由 車 JQAK

◆毛糸、端人子供服の服實 ラクダ屋本店が廿日から廿六日迄思が最本店が廿日から廿六日迄思が最大元の店仕舞 世帯道具一切を店仕舞のため二十日から大投賣

名古 ・クロフォール ルーレンス氏共演 ルートルス氏共演 ルートルス氏共演 ルートルス氏共演

大阪市東區 松本順先生方劑

福井對關堂

大学文名 療病界の革命である其の効果の如きは只養 療病界の革命である其の効果の如きは只養 を要なる器械をも發明完成 本療法は加藤報谷先生の既往三十年間灸の 本療法は加藤な谷先生の既往三十年間灸の

卅錢·二圓 廿錢·一圓

栗

價

百藥の

効なき

平錢・三圓

イレン、齒痛等は直ぐ止る。 發育不良、糠尿病、其他内科一般 肩のコリ、睪丸炎、中耳炎、内耳灸、 神經痛、カツケ、胃腸病、リン病、百

般に胃ケイレン、子宮病ケー灸、腎藏病、神經衰弱、小兒の、百日咳、婦人病、ロイマチス、・近

ケの

生活御困りの御方は時にでも出張治療御希望者は午前出張 午後

御方は無料にて治療致すべくに付御遠慮なく療に應ず但し出張治療は車代申受く存後一時より午後一時より午後一時より午後一時より午後一時より午後一時迄

(時)キャナッカ スナマウ **る治ぐ直切一**

の遺憾遺恨を晴らす可き、私

を奥野するものと腹びまじたが 殿びされ、樂彩の髪絮は社會問

標品で告が、武士の厚前へ起つて大塚湖十郎、か組からけ頭脳の上

るのさ一総見事に地職へ飛び下り 「妻木さまはどうなすつた?」 「妻木さまはどうなすつた?」

ささま、土蔵屋根上へ、下りる はツー」で、兩人が持ち場へ飛 を銀下に書を現下せ!」

哈市のキネ

9



て滿洲に普及する療法

温熱瞬

间療

の發

州新澤庵賣出



界各國 東京風菓子謹製 青昆 のル黑 **酒類** 鹽生 護のラ (五姓村へ) 粕 わス 食 料品 たミ漬

三拍子揃った 日本各 大連市極町增屋事 中村景太郎 若

味香色のりしよういく

流域飲

佐々木味津三原作佐々木味津三原作佐々木味津三原作佐々木味津三原作 海原本。退 屈 男 高 堂 國 典、武井 龍三主演 高 学 國 典、武井 龍三主演 海軍侯次耶監督 海軍侯次耶監督 海町を背景に鮮烈な要欲闘争史 野井 海、小藤田正一子族 船 船 船 船 の血は職るを御期待下さい。

囹 8 8 8

多少にかゝはらず炯用命下さ 聊か謝恩の為めに ます様に偏に御願ひ出上げます 清 清 松の盛さし 印 酒 酒 菊 御買上品に對して左の通り景品を差上げます何卒 います様御願ひ申上げます

張の爲め組織を改めまして合資會社河又商店と生れ變りました、勿 永年の間皆様の御愛顧を蒙つて参りました河又出張所は今度業務擴 論從來の『顧客本位』と云ふ信條を以て一層御得意樣の御便宜に努 めます事は申上げる迄も細座いません何卒從前の通り御引立下さい

本お 1 16 粧 0 ン前 SK. 167

お験すりまり

電 話

四四 九四

河

三六 〇六 番番

大連市沙河口霞町

話九五〇八

地知日本灸專門療院 0

日英米獨專賣 特許加藤式器械専品比須町電車停留所より上る

下方

の軽い朝

山本洋行

んだ頭

(四)

旬給制度と

通關書類の正確 大連商工會義所から配布し

発前 パンフレットの内容

、高洲に於ける輸入業者は外國 でなさむ、おし見本あらばこれでなこと、若し見本あらばこれでなる。 ではの明細書を代籍業者に送附すること、若し見本あらばこれである。 完・ 養の裏野を必要さすること 著の裏野を必要とすること 本の裏野を必要とすること の、日本に於ける輸出入業者は明 細書又は仕切響を作成するに當 のする、輸出入業者共に時々最新の商 品目錄並に割引表を大連濟協に 送附し意がに割引表を大連濟協に 送附しが銀行を輸出入業者は明 のですることは所聞を必要事項は編 が、取引が銀行を解する必要事項は編 が、取引が銀行を解する。 表に取引銀行を解する。 表に取引銀行の。 表に取引銀行を解する。 表に取引銀行を解する。 表に取引銀行の。 表に取引銀行の。 表に取引なる。 まに取引なる。 まに取り、 まに取

日鮮滿直通

綿糸布運輸

梅田、奉天間の輸送時間も

出來るだけ短縮する

差引制度の廢止

消費組合に適用せねば

効果薄の議論擡頭

同時に電施することを走の結果、市中側有力をの結果、市中側有力

石炭聯合會

理事會

報告、協談との交渉

總て海關に提出される書類は

小賣市場の物價 低落振り著し 前月に比し五分方 殊に目立つのは穀價の下落 議議では連続をより銀道者、 原鉄 ・ 大阪橋田縣から軽天までの所要時 ・ この直通型輪を出来るだけ短線 ・ この直通型輪を出来るだけ短線 ・ この直通型輪を出来るだけ短線 ・ できまた見たが三銀道数事者では ・ この直通型輪を出来るだけ短線 ・ できまたした。 ・ この直通型輪を出来るだけ短線 ・ できまたした。 ・ できまた。 できた。 でをもた。 できた。 できた。 と 職は大陸左の如くである 梅田――下園二十五時間四十分 「園――一番留時間八時間五十分 を東――一番留時間七時間五十分 を東――一番留時間七時間五十分 大大陸左の如くである

事會が開かれる冒滿國販賣部に入廿一日東京にて石炭騰業職合會理

大山田 (大山田) (大山田)

のであるが非常な手数こ危機が 城子あたりへ持つて來て機受す

すのは 意世頭の首の付い

つゝある職様は根盤の地盤を存し おいては種々考慮してゐる機構で てゐるが、懸等數年前より經營し おいては種々考慮してゐる機構で てゐるが、懸等數年前より經營し おいては種々考慮してゐる機構で 職。 それを簡単なり客車側にして、山 金は取らのさ云かこさになるさせ かを得す軽天で寒観に交換して、 はなりのさ云かこさになるさせ はなまるものである。他はならって、のではなさころへ。他はなこころへ。現代でなり、そのは戦なものである。他へ「要なしなければならかと云ふとことでいる。大戦なここになる。十年のは戦ならのでなければならかと云ふとことになる。十年のは戦ないでなければならかと云ふとことになる。十年のは、大戦なここになる。十年のは、大戦なここになる。十年のは、大戦なここになる。十年のは、大戦なここになる。十年のは、大戦ないる。十年のは、大戦ないる。十年のは、大戦ないる。十年のは、大戦ないる。十年のは、大戦ないる。十年のは、大戦ないる。

(日曜土)

官商買占め開始

更に糧棧の副業の

停止を秘に計畫す

でには概
の時日を要するが、
でいるな機様であるか
に対
が
際上のが、
とつい
に
が
に
つい

総談は遊だしく歌の

独だしく歌歌館であるさのではれてゐる蛇と月二回支

でにより、 に要する經過は統三十五、六萬風 に要する經過は統三十五、六萬風 に要する經過は統三十五、六萬風

回敷並に程度かめくするさ論じて 一般報機が合理化するさ共に恐慌の

明ち飛龍季節峰壁脈なるものはこ 型はれるこさは残く肯定されてある とはないる風に周期が幾等峰に役 であつて、一頭、一回、一ケ月、 れに懸する。作歌でよくいはれるやがであるかどうかについては老だいる人への異論が愛されてゐるや な事質を指すものである。これは 季部解懸動脈を概要するさころに をの歴集関係を確要するさころに

景氣循環論

經濟變動の種類

恐慌の樂悲兩說

景氣の慶画が一定の周期率を調

季節的影脈以外の観響影頭は分

で別類が回復動を発

を目して十九世紀に付ばれた所製 を目して十九世紀に付ばれた所製 を開展に変が至世界製造に移る一時 を開展であり、地が製造とり

大〇 大山大〇

取ではいけないこ云ふので宜いが注 を整へて居る内、この現大洋製さ では現大洋製で取引しても理鍵で では現大洋製で取引しても理鍵で

100 HM 三元〇〇 九一九一〇 1,000

大学

lh

いたこさがあるが、さ

安值 大引 安值 大引 天心 天心 天心 天心

あれは何にするかさ聞くさ重い

Pっ物源別全般に取る歌無動脈に極いたりの展響的であり地方版であり地方版であったが十九世紀末以後は世界版にしてにかけれたが表現をは世界のであった。

製である、いまこれた調査配目五 製である、いまこれた調査配目五 滿洲林檎

箱位るか 本年は五千 南洋向けの

勝落を示せば穀類一であらうさいはれてゐる

新島、麹成、紫成東、襟成東七十大豆は海房五十車電優、瓜谷、丁大豆は海房五十車電優、瓜谷、丁大豆は海房五十車電優、瓜谷、丁大豆は海房五十車電優、瓜谷、丁大豆は海房五十車電優、瓜谷、丁

相場に影響し来るには呼吸りな時

が無いもの最近に出たものさみられる を験は驚方の思ひのまゝになる響で が無いもの質ひの様場だけに無近 が無いもの質ひの様場だけに無近 で変態までのこさで之れから覧達め で変態までのこさで之れから覧達め が出現せれさも限らず様場もいよ が出現せれさも限らず様場もいよ

◆…ば料さしては 頭や歐洲筋のか結局で

實際から來た 十月中の大 の四分の一に過

要が聴らうさは る。更に厳地では 接撃は、満州 では、農産物の野行

でこれに使用される端頭の列車は 受東、網天職二三一列車、磐天、 長稿間四五列車、蘇家屯、大森橋 長稿間四五列車、蘇家屯、大森橋 でこれに使用される端頭の列車は 間二十分C六日之二十三時間甘分) 梅田、黎天間所要時間百六十七時 人職資産の出産があると 深想五百二十草順 でかん 恐らく一二

大豆 E.

篠崎書記長上京

麻袋製らず 綿糸近物高

過去現在及將來

大理油房聯合會理事

中西瀧三郎

総本 米福坦三十岐安先十八銭 安田福十銭高銀塊十六分の一高に 安田福十銭高銀塊十六分の一高に 大阪三品は期近一個高なる人先襲 らず當市は銀票保合に領策らす一 配過ぎなかつた 銘柄 約定期 値 数 個数 動 土月限 一四一七 二〇 西 一月限 一三七人 二〇 田 本高 四十組

で大きさである。春とこの現大洋で大きさである。春とこの現大洋

たら概然に動いる 砂地は上部に放

當市强保合 式

值值值付上 海標 五五八四

三二一十十 二一 神

三します

一貫匁五十五錢





標金高に ・ 一高、光物十六片十六分の十一さ(八分の一高)光物十六片十六分の十一さ(八分の一高)独育は三十六仙丁度さ(八分の一高)、光洋は官風十七十六分の九さ(同事)米月は四十九第十六分の九さ(同事)米月は四十九第十六分の九さ(同事)米月は四十九第十六分の九さ(同事)米月は四十九第十六分の九さ(同事)、半月は四十九第十六分の九さ(同事)、半月は四十九第八分の五さ(同事)、半月は四十九第八分の五さ(同事)、半月は四十九第八分の五さ(同事)、半月は四十九第八分の五さ(同事)、上海標会は五百八十六間丁度は別様合かをした。 ▲東短前場 本東短前場 本東短前場 本大阪現物 本大阪現物 本大阪現物 滿鐵株(低落)

安取(當前場份 取 期 | |

定

仁川 京 前場寄

商品素









日本 参考資(銀雪) 圣風(0) 同 十五日貿(同) 天風(0) 上海向参考資(銀雪) 芝園(0) 上海向参考資(銀雪) 芝園(0) 上海向参考資(銀雪) 芝園(0) 上海向常信資(12)」志の片型分土 (信用付三月貿(同)]志の片型分土 (信用付三月貿(同)]志の片型分型 (信用付三月貿(同)]志の片型分型 (信用付三月貿(同)]志の片型分型 (信用付三月貿(同)]志の片型分型 (信用付三月貿(同)]志の片型分型 (本) (金勘定) (本) (金勘定) (本) (金融) (本) (金融) (本) (金融) (本華天(現物 至、100 (本等) 先物 (全、100 (本等) 是,100 (本等) 是 100 奥地市況

では 何でも御用命下さい ジャバン・ツーリストビュロー ジャバン・ツーリストビュロー

●異關有扱所(大連市山縣通)
■異關有扱所(大連市山縣通)
■ 電話四一三七番

ピン大洋が仮 黒龍江代では 東北京では 東京では 東京では 東京では 東京では 東京では 東京では 東京では 東京では 東京では 東京では

おたボイント安を売した本大阪三 出は来線安に連行・脚近続は百四 十七個の新像に瀬遊したが発像は た本脚近域の緊張はいよくで が磨掃はつて空源の環境につれ玉 が磨掃はつて空源の環境につれ玉



文相が責任を以て

三百萬石以上の

石の職入れた褶ふの樹を叩決したて先づ昭和五年蔵内地米約二百萬

政院を対した地域の大きない。

でで決し午後四時間會 にの委員も政府の意を説 の委員も政府の意を説 が表明したの

十二月中に實

買上を力説

歐洲

市場へ 所有米を

第廿八回米穀委員會

一般學制の改革も追つて實現

きの人の定例閣議

『東京二十日教電通』第二十八回 ・ 大教士第二條の規定も構ない。 「東京二十日教電通』第二十八回 「東京二十日教電通」第二十八回 「東京三十日教電通」第二十八回 「東京三十日教電通」第二十八回 「東京三十日教電通」第二十八回 「東京三十日教電通」第二十八回 「東京三十日教電通」第二十八回 「東京三十日教電通」第二十八回 「東京三十日教工」第二十八回 「東京三十日教工」第二十二日 「東京三十日教工」第二十二日 「東京三十日教工」第二十日 「東京三十日本 「東京三十日 「東京三

一部案を諮問

先づ二百萬石買上

に際會、十二月中適當の時期に然し二十日午後一時代より農林官邸「東京二十日餐電腦」米数委員會

滿鐵鶴見築港工事 昭和五年度產米

來月上旬迄二着手 愈々政府の認可も得 費大體二百餘萬圓 鈴木翰長重態

東京廿一日發電通》鈴木書記官 見は昨夜持病の喘息再發し竜大よ り真鯛教授を招き治療中であるが

の問題は之た率天政権の裁 ケ年の今日なほ未解決のままに放 ある。 性するが如きは決していたかにも傳へられるが、 さしても有利ではあるまいか。 生するが如きは決して知何に解決するかの爵策が 断に一任するこさが結局、支那側 置きれ支那全権代表

置され支那を

組織ご統制

郷さ総跡なもつて御外にゆる戦頻輸出組合さはい

なして選にエキスポルトフレーア

たのである。

本スポルトフレーア」はソ ・職職内で一九二三年に始 が交店ごしてはロンドン、ハン 目は蘇聯内で生産される答 一次グ、コペンハーゲン、ロツテ 化た機関である、公司の主 でを輸出販賣するのである がが支店ごしてはロンドン、ハン をを輸出販賣するのである カメロ、ニューヨーク、アペノス ないが洗りに関内市 でのた其れがために関内市 でのた其れがために関内市 でのた其れがために関内市 でのた其れがために関内市 でのた其れがために関内市 でのたりに構場を左 である。 である。 である。 オスロ、ニューヨーク、アペノス を職職のかために構場を左 である。 である。 である。 オスロ、ニューヨーク、アペノス を職職のために関内市 でのたまれがために関内市 でのたまれがために関内市

脚徐されてるる

精確、整定、 一生持てる 耐久力を 保證致し

不經濟此上なし

株

尤

沢(井一田)

内地株デリ高

當市も强保合

会商財を呈さた 小碇りを示し當市も関散乍ら强保 小碇りを示し當市も関散乍ら强保

5

共産黨の陰謀か 滬寗線で列車顛覆 來客十數名負傷す

大の世界委員より三百萬石以上の 東の世界委員より三百萬石以上の 勝一次につき説明あり影響に入り貧田 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職 「民職への輸出を試みたが今隠職

朝鮮自治

きの

ふの閣議で決定

の作が決定した。 貨車に 送油されてぬたが 時間が至十三時間か要し冬排板窓 ががはタンク内の取滞が形結する ため母院を燃して濃めながら送油 ため母院を燃して濃めながら送油 ため母院を燃して濃めながら送油

参事會員再選の

市會延期か

當初の豫定變更せん

迷び見送る 迷び見送る 迷び見送る 迷び見送る

の支持せる滅状が趾に懸き住成し、小川政務次官の論離の中心駈け、 を滅疾は野球に影破性の修正意見か容れたものであるが、態であるからこれを全回の減税を滅疾は影破験に終事により、できるの合同線談に使り勝乗東領等 することは二重となって除り職 で対出さるべき税目は全回減税 が対出さるべき税目は全回減税

在年産内地約二百萬万の買入れ 五年産内地約二百萬万の買入れ を行は人ごす

と造って外國人でもず ないこと

最近觀た滿蒙

離在京名士座談會

六日夜東京會館に於て一

さういふ事をして懂の金を落さ

旅順の活路は

理論と實際と

小川次官の論難點

大連魚市場では従來州外膨脱を大 悪 選問に難じ一率に金四十四錢の園 下態酸低酸の指來に下等低慢魚類 下態酸低酸の指來に下等低慢魚類 大連魚市場では従來州外膨脱を大 大連魚市場では従來州外膨脱を大 大連魚市場では従來州外膨脱を大 大連魚市場では従來州外膨脱を大 大連像市場では従來州外膨脱を大 大連像市場では近東那常園に熟 を二等記さして かるさいふので、酸で市場常様は を二等記さして かった。 かるさいふので、酸で市場常様は 大連像市場では近東州外膨脱を大 大連像市場では近東州外膨脱を大 大連像市場では近東州外膨脱を大 大連像市場であった。 大連なる関税で 大変した。 大連像市場であった。 大連修成市。 大連修

十八銭五厘に延織さるとこさに十八銭五厘に変し右關稅の変滅方を選中であつたが、今般グチ、カ渉中であつたが、今般グチ、カ渉中であったが、今般グチ、カ

が南所有米現在高に二百十萬 郷、十一月十九日迄の決定數量 は十九萬四千七百十三石 は十九萬四千七百十三石 は十九萬四千七百十三石

不及び籾の輸入制限の期間延り線の輸入税を増加の件を設定に依り米の輸入税を増加の件

雑魚類の關稅

等級制實施

下等魚類の關

主税局案は變態的

理論的に正しくな

長尾 作霖氏の向南 大学島大連民政署長から市競事會就 今の處鑑神の餘像ない既際である 無理能り中であり、また総木氏は極 は二十四 (月曜日) 午前十時さ 東北 (旅行中であり、また総木氏は極 は二十四 (月曜日) 午前十時さ 東北 (旅行中であり、また総木氏は極 は二十四 (月曜日) 午前十時さ 東北 (旅行中である事規明したので | 決定した

マチ

・ 後藤 「非常に脚が酸むいので未だ ユッタリして磨たいが食社の方。 いのか、これが秋の第一の経問にならな

「長尾さんのそれに関する御 長尾「程は張代親氏が生きてるが、何かまにして南のがを加いてるるが、何かまた向いてるるが、何かまた向いてるるが、何かまたではが、それは大きではいいかが、南ないが、さらではが、それは大きではが、それは大きのようではない、が流鏡は南を向いてるることが出来る、然るにであったが、それはまで歌声の大きなの情報は、そればないが、音が出来る、然るにであったが、そればないが、音が出来る、然るにないが、それだのに響天にはないが、音が出来る、なるに変してあったが、音ができるのではないが、それであったが一般である。

職は大連に進出させて然るべし を思ふ、底軽の部談名士の別談 地の中にホテルのやうな所に関 地の中にホテルのやうな所に関 地の中にホテルのやうな所に関 地の市民さしてもごと思ふ、又大 連に引越っべきだと思ふ、又大

その方は私にはよく地らないの

が、今は弊害

中村「國際都市さらての大連や旅 順に就いて御意見が承はりたい 順等計画されて御意見が承はりたい 関際都市さらて黙認してゐるの はいろ(\な理由があらうさ思 た、天連には興味を持つて行ぐの土 た、大連には興味を持つて行ぐの土 たれば法規の取締りが除り載し これは法規の取締りが除り載し

東にこれは少し所容した暖臓かりません。 東方を壁にしてもいっさ思ふい。 東方を壁にしてもいっさ思ふい。 は少し所容した暖臓か

第一號か第二號か)等さいふや 第一號か第二號か)等さいふや で発化るかか諄く唯一て終始監 で表は人かか諄く唯一て終始監 で表は大慶に煩さがつて飛く居

であるから、難じめ誤解のない、全く根一個人の勝手な意見ではない、全く根一個人の勝手な意見ではない。全く根一個人の勝手な意見であるから、難じめ誤解のないやうに闘つて置く……そこで程

どういふ関係で、微は微能で、でういふ関係で、微は過ぎて旅行者があれば響楽し過ぎて旅行者があれば響楽

日本は斯くの如き君子國である一番も飲ませね、阿片も吸はせね……十二時後には好している。

中村「関戦した語ですが関東殿を 旅順から大連に移収しては…… さ云ふ説を襲々降くがこれに踏

國際的都市の

東金智に選する、満洲に支底を際で事常に困難であるが中國開鍵 であるが中國開鍵を表示を表示を表示を表示を表示に困難であるが中國開鍵 朝鮮總督府で 煙草元賣捌廢止 八百七十萬圓を捻出

的

整者はケール君の卑疑を異常な内 分泌線活動に降してゐるが大人の やうなケール君を他の兄童の仲間 に入れる可否については表だに議 が決せで懸り物がきの米人間に 大センセーションを越してゐる

藤井氏離連

と氣配へ味を示して引 標金小高さ人氣から三十錢方下押 材料添はず伸機商駅の参票は後場 人氣弱~ 一段下押

◇定期後場《單位錢》 等付高値安値大引 班來高期近百四十七萬圓 ◆現物後場《單位錢》 根率高期近百四十七萬圓 ◆現物後場《單位錢》 (銀對金銀對详金對洋 一時中至1011元 1九0 三時中至1011元 1九10 三時中至1011元 1九10 三時中至1011元 1九10 三時中至1011元 1九10

三品强保合 當市見送る

安高引寄 安高引寄銘 値値値値 値値値値柄

大豆 反落

豆油叉伴れて軟調を示し高架添は 東ら仕手關係で反ぶせるため豆粕 東ら仕手關係で反ぶせるため豆粕

四三二一十十限 五四三二一十十限 月月月月月月月月 大

主催

ではある人の血液を他の人に移一心液でも十分効力はあるこされて此の輪血療法といふのは簡単に 低し親子兄弟同志ならび異型種の にと にまる にまる にまる にまる にまる にない かんしょう にない しょう にない かんしょう にない かんしょう にない しょう にない にない しょう にない にない しょう にない にない しょう にない しょう にない しょう にない しょう にない にない にない にない にない しょう にない にない しょう にない にない にない しょう にない しょく にない しょう にない にない しょう にない しょう にない しょう にない しょく にない しょう にない しょく にない

を配着さの能機動が全く同一であればならないことで、若美型種のればならないことで、若美型種のればならないことで、若美型種の

婦人は一生涯に

あごけなきがき子等の担き、て我も小聲にうた

たひては見つ 常枝

限定出版三百五十部限(申込金不用)

御申込順位即時間布

宮崎以津子

大越 仲子

濱田千代子

○未だ世に複刻せられざりし浮世繪稀版畵の一大集成

高見澤敬の世界的進出巴里紐育にても同時公開

○奇才高見澤の延使する古色美再現の木版技法

○市場に汎濫する俗惡浮世籍複製を驅逐せよ

が の 関係は が かき とから人類や 領侯 地か、都會又は田舎、其の他機格 を 教育程度 と云ったやうな を 教育程度 と云ったやうな

に舌苔が灰白色で舌全體を覆ひ、 してゐるのです。 特 學校の全生後に就で跳べてみまし す、かつて対部省の衛生課で裏好 五、六酸が最も多かつた、更にそれざころによりますさ、やはり十

ではありませんが、大體に脱て日人の初潮は必ずとも一定するもの

「金」黙認を買ふ他の元であっ たならば、誰でも知つてぬるやう にK24は純金に根部するから、

誤魔化され易

金製品

0)

話

刻印の頗る信用が置けない

あります。

0

% K1 8 1七五 · 0% K1 七%、下20にあつては八三・三

あるから、出來上つた品はざれで り、瞭場きするなりして仕上げて り、瞭場きするなりして仕上げて ち、聴くべくまた修むべき蛇手殴いるた数品がかられた事じもあるか 一般を示すならば、K18の転取を用

五分の態輸を混ざた合金でありま たなる際です。最も普通の金性で ある十八金は七割五分の金に二割

が、 たは金の際止、時間の金飾、金織 たは金の際止、時間の金が含まれてあるか、さいふこさを知る まれてあるか、さいふこさを知る まれてあるか、さいふこさを知る まれてあるか。さいふこさを知る まれてあるか。さいふこさを知る まれてあるか。さいふこさを知る ない。

第18さか、KI+さか金性が表。またのでは、大部分その材料地金たるのでは、大部分その材料地金たるのでは、大部分を関すためになって、これらのには、大部分を関すためになって、これらのには、大部分を成れていません。

はころで金銭品に押載してあるといい間です。それは何かないに関けないのかさいふからかなりに頼りない

もチャーミングな山町色であり

を まこのマークの無い品物にからい、 ではされたか知らないたかに、 不正 このマークの無い品物にかからないたかに、 不正 かい 要配で、 買ふ時に齢症があって行き しい 要配で、 買ふ時に齢症があって行き しい ままる しょう でいましている こことになります。 金製品にかい かいましている こことになります。 金製品にかい からことになります。 金製品にかい からことになります。 金製品にかい ないことんだ喰はせ物が 観まされ

するこさはかなり困難な問題です ◆ 岸の經壁に集くふ金絲瓶で解す無異でいふのけ飛窩でも言ひ海

シャークが必ず押してあっぱ我園の國旗である「は我園の國旗である「都られるます。即ち合格である「

金性を映戦化して暴神を飾ることが極いました。 をには金性を映戦化して暴神を飾ることが極いました。 をには金性の悪い鏡金を必要以上 に関撃化される監がまだあります。 に用るて、整説の目形を増して変 に用るて、整説の目形を増して変 に用るて、整説の目形を増して変 に用ることでも、一般のお とても金鑞を用めるならば、まだ数になるさ金鑞の代りに鉄鎖を多いたりに鉄鎖を多いたりに鉄鎖を多いたりに鉄鎖を多いた数に用めてメッキして目がを増し よいのであい

ります。

素通り無用

户党

記は識明しない事にな でもれは一つ一つ殿舎 で合格したものですか その金性について間違い でもないて間違い

科兒小

院醫原相

糸穀商

摩洋行

電話(四三大九章

おい

お米の

ーシン!

ーシン!!

頭痛

家 庭常識 ねるの

▼質問はすべて端書のこと

痛洲詩壇の

(大連市文化蔵カスサ

ムの使用法

別三滿州短融會)

元 蘇

COTHERD WINE THE

輸血の方法

十九歳の娘にタイプライターをいてせうか、市内山本美津子ンなる危険の伴はない、成可くなちば書間教授して戴ける所はない、成可くないでせが確實

年前ご午後で親も書間です、『紫 なす》四ヶ月間(入所の際教科書 が、1000年の別に二国世四銭を要。 タイプの教習所は演録タイプライ タイプの教習所は演録タイプライ タイプの教習所は演録タイプライ タイプの教習所は演録タイプライ

いわさで自粉を聴く叩っかりょく蒸らて拭っつかりょく蒸らて拭った。 技練返します、共後熱

投繰返します、其後熱

!!現實の刻複るす駕凌

作者の情熱と入魂の枝は歌磨の美女の息吹き巨

浮世繪の世紀來る

人寫樂の鬱彰たる藝術をこゝに再生せしめた

懸靜也

十年五和昭

はて探るかさいふさ、普通大人の 財闘解離腱から 管庭神殿内法外を でために確う呼或は電子標を以て でために確かが、 を取除した対応を できまわし、常様が - セで繊維素 を取除して用意された前後は静臓内がいっでする。 一次の如く輪曲はすべてに放て が、自然とた手腕を要するのであるか を記されたのであるが、 体験した手腕を要するのであるか 体験した手腕を要するのであるか をにすってもない。 を配する場合は一般であるが、 を記されたが、 を記された場合は一般であるが、 を記されたが、 では、 では、 できまわし、常様が、 できまわし、常様が、 できまわし、では、 でできるか を記されたのであるが、 を記された場合は、 できるか を記された場合は、 できるか を記された場合は、 できるが、 を記されたよいこことは を記された。 を記さ 邦文タイプライター

一か変のため鍵端によって戦事的に提供せられた輸血によるが、之は鍵丸が奇蹟をによるがあるが、之は鍵丸が奇蹟をによ急所をはづれてあたことにもあるが、之は鍵丸が奇蹟をによ急所をはづれてあたことにももなるが、とは鍵丸が奇蹟をでメキメキと燃験を呼渡しつといるが、とは鍵丸が奇蹟をのではありません。

るものであるさ言はれてゐる

ろで輪曲さは、如何なる 輸血とは?

病のパロメーターとなる

微妙な舌の現象

舌の

病の種類がわ

3

世界の時には舌苔はあまり厚く覆ひまかが 乾燥して來ます。 製性の情報解除 が 乾燥して來ます。 製性の情報解除 にチプスの時はチプス舌と云つて 野い既日健の乾燥した 一古大口 で舌の突離が稼み性になつて である。

米ドグ手水よりねきてほつれ毛をあぐれば澄める空に星見ゆ

乙女等の歌心

麻順高女生徒作品

髙

見澤放浮世繪稀极

年 平澤 伊勢

からて見よ歩きて見よご母上は晴衣つけた。

同が野さみこ

時には舌苔はないここが多いので いかります。これに反して胃酸過多症 ります。これに反して胃酸過多症 りません。又健康體の者でも常に胃炎人、腸カタル等の 寒煙をする人、酒をのむ人には舌には舌には舌にはあまり類化があります。その他呼吸器例 等の時には三角では、 素には三角では、 変には三角では、 変には三角では、 変には、 変にな、 変には、 変には、

く枯葉散るかな

標的界世

澤版複刻ヲシテ子孫ノ珍什タラシメ

3

高見澤版ニニナシの斯程精巧ナル美術複製い節ジラ再ど世 二現レズのコノ公募ノ好機ヲ利用シ世界的ニ定評アル高見

體重の二倍の血を失ふ

吸りの る一種の複雑の集です、我々日本人は無の集まさ、言へばすぐ 入家の解に集くふ普通の無の にまさして歌草や飲貝類などで作 おさして歌草や飲貝類などで作 おされてるないのです。そこ でたづ支邪人の店から、概果を でたて之ないのです。そこ などでに対したがら、概果を などでないない。 を注いて蓋をしたま、三時間がかり其ま、にして聞くと集がかります。このやうにしてはないで表とすから域や雅文とはつて水をはない。 このでうにしてはない。 一般と味の数で流露に味をつて、 いかつまと、この中うにしてはない。 このでうにしてはない。 このでうにしてはない。 このでうにしている。 一般位の片葉粉ル水溶きして加へ、 いつづかにぶろみをつきという。 に用意して置いた概要を深かせ とかはに入れスープの上部に前 とかはに入れスープの上部に前

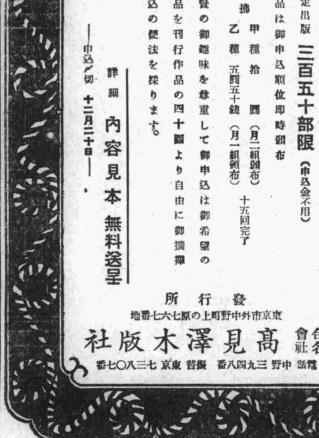
背星のつめたき光浴びにつゝ忘れぬし苗床の類

とれならばそれは既に楽正では とれならばそれは既に楽正では なく、動中萬に水を加へ或は他 の下撃品を混合するさずれば既 に共の配質に於て龜中萬でない に其の配質に於て龜中萬でない に其の配質に於て龜中萬でない に其の配質に於て龜中萬でない に其の配質に於て龜中萬さ称に に放び着中すまでもない。而もそ ては不正な 機能重な取締りを信か な評量器の使用者に對し なくて低であらう しはなからうか。

ないしにけり

解に野野山の販売 者が物水を用ひ るとは飛ざ困惑 で関連され てゐる形である





利用の耐造上の御用命は「甲二八夜間及休日」二一三一四番

意話力

=+

。店

卜板



度使へばきつど御氣に召す 利で重数な D



今井醫院

→ 対いれにて御国 ・ ないます。 司 モズク、 時雨蛤、 靜岡特產 うま 0 御用命は 食 3 チョロギ、 1/1 ワ粉 7 6

||| 辻 利 茶 舖川

專 則 兒 門 科

老虎臺

スキー

は躍る

断然、全滿のトツブを切つて

撫順、素晴しい賑ひ 三式にあるなきか? 店

た、大の智男が雪遊歴さなるもの様に総つて空くもひきづられて行くもの常で太腿はひであったが、ればすべるには明分ない、死んご日婆まで大小スキーヤー連が千断百米突の急坂に録かな滑走を織ければすべるには明分ない、死んご日婆まで大小スキーヤー連が千断百米突の急坂に録かな滑走を織ければすべるには明分ない、死んご日婆まで大小スキーや地へた連中は老虎婆のスキーアさして真一で三世、多いさころは四世その繋を励つて秘蔵のスキーを超へた連中は老虎婆のスキーアさして真一覧―――――――――――――――――――――――― 全満で本シーズンスキーのトップをきつたものは職然恒事にも実施を行かれば緑の濟まの撫願人であた、大の髯男が髻選摩さなるもの枝に纏つて幸くもひきづられて行くもの等で太殿はひであつたが、 で記る勝はりてより軽くも十周にで記る勝はりてより軽くも十周に対した。響であるが武原底水學と にては二十二日午後六時より職堂 にては二十二日午後六時より職堂 にでは二十二日午後六時より職堂 模範青年表彰

九十九國で成織艇る良好だつな出にて職易保險募集中であつたが出にて職易保險募集中であつたが出にて職易保險募集中であつたが 簡保成績良好 局長慰安宴

いめずる

土卒一同が僅かな絵料のうちから備除第二大除第二中除第六班の下

事さは存じますが國を愛する一 窓の一現れさして國情償還の一 窓の一現れさして國情償還の一 部に御加へあれば私等一同の本 でする處であります

保や活動にも行かずよせ集めた

撫順高女

學藝會

れば闖元へ送金の無心のみいひた

國家を 想ふ至情は覧に

滿鐵中等學校

個性調查研究會 二十日奉中で開催さる 情操、責任觀等)四、思想(優 情操、責任觀等)四、思想(優 有情場仰、思想內容、傾向)五、 智性(智慣、智靜、行狀身對)六 質、健康、疾病、缺陷、體力 質、健康、疾病、缺陷、體力 可、健康、疾病、缺陷、體力 可、健康、疾病、缺陷、體力 可、健康、疾病、缺陷、體力 可、健康、疾病、缺陷、體力 可、健康、疾病、缺陷、體力

の処し

友父兄、一般の歌題を観理するさ 一般された歌唱、ダンス、ピアノ連

するに足る美撃である。

一二日午前十時中より午後三時中まで同校講堂で行はれる、何れも洗

撫順高女第八回學藝會は愈み二十

けふ開ら

行してゐる、右に就き其門家は語 「大きな、一般」に愛見持つ家庭の最も戦

會社側が歴史す

日本人専門の 二人組窃盜捕人

かた、 になる 重要事項につき打合せなな ない、 に、 になって、 になっていなってい、 になって、 に 十九日午後二時ごろ千代田通十四番地焼で撃脈不審の一排人を撃天香地焼で撃脈不審の一排人を撃天香地焼で撃脈不審の一排人を撃天を振島井村生の住所不定無 でその筋で大換電中のものと対明を作用へ下級人派標が機合するのと対している解し、 つその共戦人同縣黒木村生れ住

教知 に 重る物益に続い を駆動時間とたので直に宇野も助押 まで自由したので直に宇野も助押

第三高等學校長 十九日夜來

一個は左の通り

要東飲食店組合では食料品店、料 を旅行と好評を擦して居たが裏に とて居た戯十九日にずの指令に差 とて居た戯十九日にずの指令に差 とて居た戯十九日にずの指令に差

之に黙し保官は「君の顔を見て君 パばざいにか世話

地の変験……であるさったの人物のであるか君に物るかのであるかでがごこの人物のであるか君に物るか」さの答へのであるか君に物るか」さい答べる 「ハイ持つてゐます」で関から出

は際官も手を購んで来た彼の顧出には際官も手を増ってゐたが、結局 君の戸籍謄本が最い確だ、こ 洋服部設置問題

双方の諒解漸く成り 近く圓滿解決の見込

酒保や活動も見ずに

兵隊さんが献金

撫順獨立守備隊員が八圓を集め

書を添って警察へ

れく「同業者に逃大な影響を與べた影問し役員で會見した、富級組を訪問し役員で會見した、富級組 本人学服職代表富水組合長を始め で線響の出海域を感じないこれを対するこなら起った市内日」さが線解され継続の協定は組合館が表富水組合長を始め で線響の上接続するこさ、なつた人名は廿日午前十時学職工會議所 ので近く側満なる解決を見るであた誘戦し役員と會見した。富永組 らうこ 滿洲交響樂協

は取皮皮とし、その代質さして は取皮皮とし、その代質さして を下であるからこれな と酸酸性質原、人江の耐氏より二 この質問あり結局酸酸でなさしめるや であるが、之に がでであるからこれな とのであるからこれな のであるからこれな のであるからこれな のであるからこれな のであるからこれな のであるからこれな のであるからこれな のであるが。 會演奏會

など。 などであることになり、今一度常に、古來の名曲のみ、それにスタ 一などであることになり、今一度常に、古來の名曲のみ、それにスタ かつが安徽であることに提案を一に総律ご戦やかな和歌とに滿さ がある、配して決勢すれて郷祭に、その戯目は左の通りで何れも美 数さ懇談されたが標常ではないか 粉で影談されたが懸雷ではない の演奏には聴衆を陰解せらめずに

来さ短調(カリニコウン アレグロ、ノン、トロフオ第四樂章フィナー ロモデラートン

は百國を閲覧さしたの経境の能 であ事さしを記の履 を加へる事さし容室の魔 を加へる事さし容室の魔 を加へる事さし客室の魔

但し日本間は許可せざる方針に つき從來使用の客室は漸次改善 する事 、 雇女の給料は月五圓以上な給 する事

重なる不幸

されず平穏である

逝く

故森田氏夫人

一時中ごろ霞町廿五番地流霞社 長徳東古ごを置い廿五番地流霞社 格廿八圓を窃取と富土町及び撫 「新の日本人質店に入賃、十八日 青葉町警察官舎に侵入と外雲ロ ングその他トランク等價格七十 四圓を窃取しこれ亦入質してゐ たものである

子を出入せらむる事を得てことを認めている。

對する前借は百圓を限

に悩らい でニーヤ連が水汲み をの由▲お陰でニーヤ連が水汲み

▲中村第十九旅團長 十九日過率速陽へ

から開始したが其質観は左の通り数化延吉間の自動車運転を十四日

然と前年同月に比するこきは約八 然と前年同月に比するこきは約八 然と前年同月に比するこきは約八

· 敦化縣城東門外菊生 -延吉C局子街)間

三九十九三九

その筋へ持ちで、家出、自殺

廿日午後零時半コール天の洋服 に下駄を穿いた身長五尺位の痩 形で三十位さ見られる日本人の 男が奉天署の保安主任の前につ き立つた

本来る二十三日午前十一時三十五 分着列車にて滿碗地方が長大森 理事が栗野庶務課長さ共に來吉 の筈

海廳ひには野経監殿も手を焼いて などへ次から次へさ詰めかける保 株に著るもく増加したのは金銭の 株に著るもく増加したのは金銭の

一般いてるましたが不能和で仕事が した、本窓街の知人の内で大工を した、本窓街の知人の内で大工を

敦化延吉間の

決定した 決定した

原案にっき機闘の結果

泥を吐い

た犯罪の數々

設上は三名以下 以上は三名以下

カ、理解カン三、徳操(志读、一、性質(気質、性格、意志、一、性質(気質、性格、意志、

乘合自動車

十四日から運轉開始

詰かける保護願

恐いおぢさんが手古摺る ルンペンの新戦術

全性美院濱濱事務所長 十九日 過奉館任 ・田撫順中學校長 二十日奉天 ・社復 哈濱賓事務所長 十九日來率

安東飲食店組合 更に第二回値下 雇女は當分制限せず

新舊兵の送迎

岳

月玉子トジ 同同 高 変 同人 登入後 んそば金七錢

同同同同十同金 五 七 錢 錢

西 店

電話二二〇二番

でごこさらなく変を消し んらよからう」さの係

のニユー

ス

職は一、無職常年の表験二、機器が合言探述三、告編四、水管機器

會を俱樂部は然で開催する事にな

季秋圍碁大會

新當祭大祭

使さして影酔する事になった しまっぱい 地が 一般では、 一般では、

日時十一月二十三日午前十時よる養夕園食の用意あり其他詳細なる養夕園食の用意あり其他詳細はな意、食事簡単なる養夕園食の用意あり其他詳細日

令旨奉戴記念式

けふ記念館にて擧行

多数の見遂りがあった。栗林曹次郎氏は廿日養安率組急行

R電影の手盛品と整作さてる 1句通子女史指導の下にフラーの一句通子女史指導の下にフラーでは事業費を作るため タ子大學卒業生より成る機構 大学である、當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際、神智學校生中から記念館では、大学である、當日は一般市民のは、大学である、當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くとれ道立際がある。當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際がある。當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際がある。當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際がある。當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際がある。當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際がある。當日は一般市民のは飛行後庭に引っ振くられ道立際がある。

混保取扱ひ

家庭研究所で 成績品展覽會

哈

爾濱

家畜移入禁止

保大豆・取扱のな開始したさ

大 石

令旨 奉戴記念

を受力を開催する、自品は婦人服、子前九時から午後四時は、 を開催する、自品は婦人服、子前九時から午後四時は を開催する、自品は婦人服、子 ・ 対象、フランス刺繍等で を変者には順常するさ

高橋家の不幸 大連新聞を養養長、北端日報記者高橋勝がチブスに罹り十九日午前二時四十五分水眠した、告別式は二十日午後一時から顧町太子堂で執行された

東螺が一九三一年度の大緊
職政際とする問題に
で中央下職及機關軍從業員百六十
に発名を露支派やし除雇する問題に

人員整理反對

住した公信士萬元を無利子で十八支那側電業公司では十六年度に募 濱江雜姐

東

ら株主は無利息で学鞭を性にしたビン大洋は学鞭に惨落してゐるか

雇女の前借金は

百圓を限度とす

客室に依て人敷制限

新義州署の新命令

十六日郷家中を通過した旅客に五 年一松花江及誇河の鐵橋は貨物別 第一松花江及誇河の鐵橋は貨物別 さがある

十一月の北端には

國産海草精劑海貴來の眞價

日底、心気亢進症、頭痛、不眠症、便秘、利尿、肩のコリ症、腦充血、腦神經衰弱、神經痛、リウマチス、ヒステリ症、腦充血、腦神經衰弱、神經痛、リウマチス、ヒステリ推變藥特殊海草精劑海貴來

□類似薬御注意 日本總發賣元

酌婦花代全廢

半身不隨病秋冬は競作李 腦溢血の中風多くは老年者! 貴 風

四種の中

電影水貨板品具 京製洋 五型行

中 本月八日新参州府監井町二番地版に 取締の海場十九日一代書館では 同の海場では 一次である 一部 一次では 一次である 一部 一次である 一次では、

うのに

5

一制理人技量 一本 金二 一本 金二

照 壽 焼卷し

御一人前

金二十五

E E E

定

本症は脳流血又は脳動脈栓塞 ろしきを得ればある程度までのやうに卒中酸作は起さない 不老長端は全点できる、常にが大抵六七十歳頃から徐々に の亢進せぬやうにきる、常にされば老りを発生が進んでくる らぬやうにし卒中酸作を防止これは老りを発生が進んでくる らぬやうにし卒中酸作を防止これは老りを発生が進んでくる らぬやうにし卒中酸作を防止さればそのない。 するやう路性 ローカカはなながない かっといい するやう路性 ローカカはなない かっといい か 動脈硬化症の中風 萎縮腎併發が多い

おの今日他店で御比例の上何卒御用命順上まず
 記達の速か
 記達の速か
 の新鮮

福

壽

司

食

堂

勝動脈栓塞の中風 一次心症の豫防もせよ多く老年者に起る で比較暗新らしい心臓内膜 多く急性ロイマチスから低器 多く急性ロイマチスから低器 多く急性ロイマチスから低器 る、そして顕部に高くし頭部 を要するもので視症は瞬溢血 を要するもので視症は瞬溢血 のやうに卒中發作を起すもの で栓塞が一層強固に血管壁に で栓塞が一層強固に血管壁に が、不限症にも密音体で安哉 でを患が一層強固に血管壁に が、不限症にも密音体で安哉 が、不及症にも密音体で安哉 が、不及症にも密音体でを逃しなるべきが、不及症にも密音体でを恐ら が、不及症にも密音体でを表し が、不及症にも密音体でを表して が充分届き不安を去り安眠も のである。

腦動脈血塞の中風多くは壯年者に起る

旅順乃木町

E

電話四七八番

和洋服類が大安賣が大学で、オーバ、婦人コー族順敦質町族の人と変更

電話 四四番 店

詳細御一報次第現品持**診**店 連 十回英國製作編飾購 浪華洋行 上外 買會開始

至るのである。

トヤマ石鹸 学行特製(化粧用) 大菱評判のよい 金七十 錢

青葉町の青葉町の 山 震洋 一番行

御酒席に限り花代申受す 料 順

菓餅 子さ ナラ やま を軒

の程を御進物用珍菓色々取揃へて御座います御用命 青葉町 や 較比細な段値を物品 奸

斯集帝市顺服 店 商 野 吉 新大小一話電

周圍約六里位る 番大きな島が

三女真佐子十一日出生 三女真佐子十一日出生 雅子 窩

十分の餘裕あるこさ 規明 と十九日 一次の餘裕あるこさ 規明 と十九日 一次の総常の不安の念に騙られて居 がの恐憶氣分は一端さる、に でのない。 調査となる智果推議計算に然で師一級で記載の砂管脚につき職

武道選手決定

大森理事巡視

開原小學校 記念展と

本月三十日のみに開催のひにであった時間であり、大きないがあり、本月三十日の時日に取り膨影を

病氣から縊死

完會次回期日並に研究事項は左顧民政署内における権順振興家

振興策研究會

1 地
戦等
1 地
大力
車
1 大
力
車
1 大
力
車
1 大
力
車
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の
1 大
の

日夜自宅の納屋で縊死を除げた野王女僧(こうは郷瀬を苦にら十九

附屬地に

長風丸巡航から歸る

昨年十一月より業務を開始した監験はタラの七萬賢小洋四萬二千圓を經験に太川魚二萬八千貫、二萬一千四萬二千圓 貔子窩市場の 十月の水揚高 さゝなつた 不安一掃さる

第二千圓その他合計小洋十四萬三 ものであるが一般が一様に近い ものであるが一般が一様でも あり銀の暴落で影響を受て居るが 年々増加の見込。ある 金曹貔三署の

は職合軍の軽込に依り金警聽三署 武道リーグ戦

巡回施療日

前民政署管の施家は二十日より

開

十二月一日第十九回創立記念

日常地で得ばれる等人

旅

順

おめてた二つ十九日の 吉日を期して紫地に二組の經鑑式 が響けられた、一組は當地歐終署 が響けられた、一組は當地歐終署 で「大妻の媒介で午後五時より同氏宅 大妻の媒介で午後五時より同氏宅 大妻の媒介で午後五時より同氏宅 大妻の媒介で午後五時より同氏宅 を方毛頭見帽子 個点 發見したる 外何等手腕りさなるべきものはな かつたが管内容派出所にも手配し 青年記念日

模範青年表彰

り総論會を開催する事こなつた 終了後引經ぎ午後七時より同所に 終了後引經ぎ午後七時より同所に

不不死老

、呂代稿等を第三位さ

新築、南向初音町サッマ温泉上 道付賃二五四 電子三と七 資家 県龍臺ニハー三東京水 健房付賃六〇圓 電話五八二一地下室温水 地下室温水 地下室温水 地下室温水

かまな 性睾丸炎鍼灸 ・ なった大郎 電話四六九二番 ・ なった大郎 電話四六九二番

勝も提督の公正なる論功行賞

實狀並に賞品授與、勅語並に令旨捧述、令旨來客默合唱、事務所長告辭、來賓祝辭、表彰者謝辭

田斑長陽氏より指継病の教者を受願懲兵分遺縁に然て佐藤隊長、送騰院守備除被年兵六名は二十十開

賊主將生擒

矢交を澤山拾つた。 曹提督はこれについて會議を開

その除の臓は、戸部は耶陳大

朗

畵

をさへ給ふた。その聖旨に日ふ。 をさへ給ふた。その聖旨に日ふ。 が一般語語にその子女は既に體 が一般語語にその子女は既に體

モミ療治御望みの方は

捕繩術教習

(五十三

正代で心は副田氏会戦院子さんでご より獅子高戦社で華殿の無な響げ 五時より瀬屋ホテルで披露宴な健 に決定した式吹左の妲し に決定した式吹左の妲し

際限等機能にては移駐後の諸畿の

ていれば既の策略で、我軍を誘ふ

が配への変響を出た

んで走るここ二三里にしての 乾糠錠が成坊したものさ 吹繋が成坊したものさ

太子太傅、兵部尚書の官。 では、校、これか喜悦、 ない、本心、本心、ない、ない。

曹提督の追撃

村岡牧師講演

守備隊の休暇

十九日午前七時間水子養産家機管 が願く進路を見てか飛び去る

心中仕損じ男に

總兵官は直に入城される。若し又三方冊が果して投降するならば二

いの無いものは勝手

古金

讓店

カフエー目下盛業中

てはぐづぐづして

総人を出し、 ある。今はも をいる。

遼

陽

事にて際催さる、さ にて際催さる、さ にて際催さる、さ

容るて提督の

した二郷兵館も赤兵をした二郷兵館も治郷に限り、投除者千部的治郷は飲ん総で、師の事に合うたので、師の事に合うたので、師の事に合うたので、師の事に強い、投除者千部のも治郷は飲ん総で

城を搭領し

懲役二年を求刑

楢本某に係る公判

諸所で射止めた者が多い が本年は其戦却気に多一鷲地でも が本年は其戦却気に多一鷲地でも

ル郷鐵板六百二十五枚を打込みて 米突最新式ラルセル式シートバイ 米突最新式ラルセル式シートバイ トる滿鐵第二埠頭護岸工事は近程離井高型組修口出場所の請貸にか 第二埠頭完成

兩課長視察

悪はれ、節はれ、節は

0000000

性名在社は ・ 本名在社は

を遮断してし

に、一院の伏に一般の號砲

日案内

学陸町 きかいや電五四三七番 不用 品親切本位質受 常陸町 きかいや電五四三七番

信濃町市場前

天榮堂

引越荷物

六八四一番

尺八 明暗流尺八数侵

死た管悟でつ 記るこさ又 記るこさ又

を登しれたのでいたくよろこび、 を登はれたのでいたくよろこび、 を登はれたのでいたくよろこび、 では各々三百両宛か、旅戦にせよこと は各々三百両宛か、旅戦にせよこ

白帆

此印に限る

塵紙 徴身の三島紙 数身の三島紙 物身の三島紙

茂洋行紙店

天帆

戸印に限る 高級純生漉お使紙は

算盤

新ないでして、 一年後七時楽選一次在窓軍隊表 大川午後七時楽選一次在窓軍隊表 大川午後七時楽選一次在窓軍隊表 であるが在郷軍人分會で であるが在郷軍人分會で であるが在郷軍人分會で であるが、一般であるさ 模範青年表彰

きます。この質は如何でこざいま かりこもにつか 養して、その逃路か解たす様に致 撃を受け、一瞬 かり かり 一年である。

つかれ、英氣疾滅たる一臓もせないこさゝて一臓もせないこさゝて

合を粉さする

を受け、鞍の

林佑のはげしい一刀

早くも肩に 林岱の蘇では

落ちた所を定

マトタクシー隣

智字 三河町 池内 三河町 池内

電八六七五番

宿料 食事中臭無力 中土風の割 電話 (次月報) 電話 (次月報) 電話 (大八八〇番) 電話 (大八

この時既に

外交

四平 街

め各職権知名士等参列する智

今日の案内(井二日)

近藤領事退職

危篤の報に接し十九日夜出連の質父である大連署長尾崎警視の質父である大連署長尾崎警視 「朱文信君の献策は我意を得下も れではその様に手配をしよう。然 し二編兵官が直に城に入ることは し危険だから若し三方面の販が

軍が津波の機に退くさ問もなく情

だから攻めたてる。師問語も移ら 君ならでは師

前後より挟みうつこさにしよう。 を率めて師能器を追撃し根妊娠さまるゝがいい。本官は自力から兵 こさにし、それから二級兵官が進 居る、解除の ことに は 単の軍も走せ夢じ 賊ごもな全滅にして

牛乳

大連牛乳鉄式會社 電話四五三七番

満洲牧場 電話六一三四番

1

古市運送店

『枕佐井の武勇は古今様である。 で懸ったからで、ほん 伏せておいたのも

貸家 標花塗入口八、六、四、 **貸家** 第二五個 **貸三五**個 **貸三五**個 **賃三五**個 **覧三五**個 **電二**一〇九五番 電二一〇九五番 電二一〇九五番 電二一〇九五番 電二一〇九五番 電二一〇九五番

東京四谷區水特價五國前北縣上皮谷區水 大阪

站

着根 一

療計院

炎。屬。 電気・一般マッサーシュス、原線、乳はの、 東質特計・東京甲學族院・側級、中風症、 カナス、原線の痛、遺症、神経痛、中風症、 が強、直症、神経痛、中風症、 カナス、原線、乳はれ、乳ふそく カナスス、原線、乳はれ、乳ふそく カナスス、原線、乳はれ、乳ふそく カム温、炎治療器

通勤家政婦 (無事) 一日一圓 (無事) 一日一圓 (無事) 一日一圓 (無事) 一日一圓 海陸連送 受利る引数用貨越 品品

突飛な堀出物澤山 速町 賣

電話五四〇九番 中

間 物。 半ゑり。 見 切 物類

藏甚子金 士博學医一六六七豐·其七個西連太 常 • 简中迪季電場在西福刀計
獨

電話上五二八番

華院



物理療法院

五四附に大量球球局依生業

皮 軟 標 標 素 病 病 病 病 院醫中

御一報直に参上 一番 時音 まします 電二〇六六

骨傷 病ハリ、キュー 鈴木丈太郎 電話四六九二番

参精 朝鮮總督府官製 持田順天堂 電話三二〇九番 興債

電話国二二一〇一番松尾處男商店

築はヒシカワ薬局 八九三番へ

西公園 第 産婆 配 六 七 山 鳥 町歯 六 科 電話八二〇三番 話三〇四九番

尚

治德

印刷と写真し

の御用命は 試 小 ム 堂大 飲 板 シの 阪 数 三 赤天 迎 山 酒 マ龍 理家子音》を 大棚は入院館意 大棚は入院館意 黒髪家畜病一

音野町 吉野町 二

して飛ぶが如

処く聴り、松貸こ交位では四ガハ 繁盲襲差の式が終るで熱聚電の の功を聴せしめる。

変さ

いかた。

を成く整す、概備さ交換さは四方八方から飛齢が冷びせかけられた。 二人はそろつて曹振樹の前に強 、接攤の懸心離ら、今日より以

力

レンダー美人看が 小林

河島ミシン

渡すや、馬に

拓茂洋行 電話五四三九番 大連市大山通 小林又七支店 関三五國早い人勝ち本人 調三五國早い人勝ち本人 調子 では、常盤備 に 常子 では、常盤備 で 大連市大山道 小林又七支店

+

一月二十二日

淡尿器科**專門** 皮屬梅毒**專門** 大連西通。常盤橋。西廣場中間

東京 大連市西通衛電グラブ前 理學的物理療と対域を 大連市西通衛電グラブ前 理學的物理療法 理學的物理療法 では、大連市西通衛電グラブ前 理學的物理療法 では、大連市西通衛電グラブ前 では、大連市西通衛電グラブ前

大値・ナー・

店商平賛尾平 京東

店商吉友澤藤 二町修道市阪大

さいふかなり大きなものである。目下楼橋は延都突地繁選りである『寫真は樂造中の突とので、長さ百九十二米、幾堪百四十米、幅十五米、水郷精十米、もかして幾五塊空職だ見た。明年四月末五事の完了を見る筈であるが敵職楼橋さしてあらゆる監において優度納めより満載が五十一萬六千回の像章をもつて起工した寺兒満第二楼橋はその六分通度納めより満載が五十一萬六千回の像章をもつて起工した寺兒満第二楼橋はその六分通

竣工を急ぐ寺兒溝第二楼橋

追ひまくらる」

人が極沈まつた頃から

ト界を顧みて

多地田

なるは三十 さんは三十

やる氷は天然がはさ

スケート場の管理

氷だつたら四十日は

食北だったら二

つてよい筈である。

と鴨緑江の思出

もつさスケーティングは盛んであ

で聞いた話だがそのお龍

人根元馬蘭三間四が高さ五十餘尺 の元騰軍邀望監監第丁事は起洒艦 東中間にかける日露暖役當時の

に歸したのもにに右鍵欄及び遠を観道の長春以南を郭護本邦の支観道の長春以南を郭護本邦の

頭腦明晰の山梨に似合はぬ辯解 政治家 を さいまでは別府温泉問題で本件 できいった。 では、 一 では、 こ では、 などの不違な影楽し立て を無視されるが本件を別所温泉問題と本件 を然別個の問題である、然心川 ・一方に ・一 練習艦隊の二艦

旅大寄港の日程

癒を祈願

日 明心で養行を讃べる利吉能さんの 一代記、郷誌「富士」十二月號に あり。礁る爆素晴ららい人氣大松

神宮に首相平

活佛現る

に上陸の見込が付いた とことだが大で乗組出 から順弦艦車艦へ数曲 から順弦艦車艦へ数曲

世に行るをは、は、 は、で、田氏の友人さらいの様式である。 田式熟飯療法の職電である。 田式熟飯がに於ける型 に利用されたがよい、 田は企業者は大い 田は合意が、田なれにか望着は大い 田はいる。 田はいる

般の拝觀も許す

首相の遭難模

勢大融宮に齎日首継病氣不癒が願出氏等は二十二午後十時發同縣

0

强盜

投合なご ざ

遠望臺 るこ共に各特候権忠に野する設定の影響が、職等につき機関特候権 ・職等につき機関特候権

軍人分會に於て慰認中の范家屯、 一行動及び銀橋整轄な監視したる 豫て南洲戦旅保存會並に長春在郷 一蘇に依り同地一帯に於ける我軍 范家屯大屯間の戰跡 中は精神教育を主目的さして豫定、業等の見學を目的さし、旅順在沿

不當な處分に

明大學生大會にて決議

兀露軍の

近~竣工式學行

着、同十七日午後十時背鳥に向時大連發、同日午前十一時無順時大連著、同十六日午前七後三時大連著、同十六日午前七十二月十日仁川發、同十一日午

大阪に着陸

官婦の多數出理へ學生統等職監そ

御用の方は電話六三四八番~

等に盛んに御利用下さい

用に供します

識習、

温習、各種會合、

諸催

成り諸設備整へる満日調堂を一般公衆

公衆的利用に提供

明大騒動更に擴大か なり學校より夫々通知を發したの月間から授業を開始することにの見聞から授業を開始することに

政備整へ

3

滿。日。講。堂

日本部盟の元老野澤明洋高倍門下 の優が岩田淡洋氏は廿二、三日の を供意さむた日本語の僻處を開催 する入場無料 二日繰上出發

「東京廿一日養電道」 田大學生大 会は午後一時から帝大佛教寺宇會 帰敷頭の決議文が可決し三時散會 館に際會、場の内外は七十餘名の 代表四名は様田學長を訪ひこれを いたす等物々しきうちに 外敷頭の決議文が可決し三時散會 等をなす等物々しきうちに の類放を迫つた ない 責任者處分で 學校派動搖 總監に檢束學生の釋放を迫る

前十時から午後九時まで敷 十一月二十三日より五日間 十一月二十三日より五日間 十一月二十三日より五日間 から

本曲目 都山流尺八本曲八千代、 本曲目 都山流尺八本曲八千代、 事曲雪の花、同慰輪吉十段調、 事曲雪の花、同慰輪吉十段調、 のは、同安藤夫人、琴桃木 対弦、同安藤夫人、琴桃木 対弦、同安藤夫人、琴桃木 大車海粉線會主催の雑鼠及家族駅 大車海粉線會主催の雑鼠及家族駅 大車海粉線會主催の雑鼠及家族駅



乳兒! 安心して





日本一の木谷、石原、海見を生んだが、時代は瀬々に前進して行ったこれ法明上けたのも鸚擬江だる 若狹屋質店 密量 最安

構監設建 造督計樂 梶

與東魔 第一級主 性技術者 梶原勇

昭和五年十月二十一日 年前一時五十分永眠致候間此段謹告 準 候日

連

リ通県紅山

大連警察署長關東廳警視正六位動六等尾で、大連警察署長關東廳警視正六位動六等尾で、大連警察署長關東廳警視正六位動六等尾

哲

金融機関

コロムピアレコード専賣店 ド演

ムビ

後援 本コ

を 詳行

(入場無料)

原建 大連市但馬町上二 電話六二八

のシ 例年の通り多數七皮看行致しました 即仕度は即充分ですか?・ 値段はかつてない破格の大廉價 (早~伊勢町のバレーにて冬の仕度 毛皮・ヨール 金八 圓より 毛皮・ヨール 金八 圓より 毛皮・ヨール 金八 圓より ・一・アスタラカン スカンク、其他諸毛皮、男女 子供防寒外套、帽子 スンに入りまし E

四四町勢伊市連大

京員の拐帶 市内大正通 が左駆十二點を探際主き都延認で が左駆十二點を探際選走したので が左駆十二點を探際選走したので 常において開催するさ 常において開催するさ 全滿學生雄辯會

技師大樹輔三氏の酸鏡す・智書・ 電氣に關する講演 根原師匠施茶 池坊華道 根原師匠を整準を表します。 東千家茶道の師匠桝田真子刀自は 東千家宗家の茶室整番庵七疊席無 大田市四播膳町大連幼稚園向ひ角に 東千家宗家の茶室整番庵七疊席無 大田市四番屋町大連幼稚園向ひ角に 大田市四番屋町大連幼稚園向ひ角に 大田市四番屋町大連幼稚園向ひ角に 大田市四番屋町大連幼稚園向ひ角に

米電郵来の現況を知るに最も興味 大師大橋戦三氏の認道を開催するが一般の来源を概率であるが一般の来源を概要するさ、関係、電報来の事なれば同氏今回の講演自成業はて、出席と乗れて出席と乗れて、出席と乗れて、最初を収入して、という。

内、地行小包、放績 一方面が一点の減少であったが通關 一方面が一点の減少であったが通關 一方面が一点の減少であったが通關 一方面が果、三百二個通關個數の 一方面が上、前年同期に比すれば 一方面が果、三百二個通關個數の

一二國五十銭より 一二國五十銭より 一二國五十銭より 一四八十銭より

紅節絹二丈物

けふの滿日講堂

大連浪速町

吴服

T

森来

會日 場時 + 一月二十二日(土曜日)午後六時

ノーシンー

シン!!

頭痛し

・シン!!

敷島町基督教青年會 ロムビア十二月新譜

の移動も現在の移動し、如何に資とても、京子の汚れた心は、郷去 うに過去の職態を追憶れたまい、トランプの

「だし人の来る無配を感じた。

て素知らい風を裝つた

の態要が飛躍の存在を自分の灯想 来なかったのだ。それからの稿。 をなかったのだ。それさも、自分

こそはありやしない。

記を再び云つた時、彫

の数は英大なものさなるであらう を建設される。此文けの大評板を をであらうが其様版に機ばるもの あであらうが其様版に機ばるもの もであらうが其様版に機ばるもがあ

だからお化粧上手な

具避馬 產兒制限相談二班

自主

磁博

雄陽

12

柴

千代的意

髮。

清:

阪大 堂 榮 京 田 井 京東

ウテナの固煉を

小兒科

醫院

越後町若狹町角

电六七五〇

愛用されます

娛滿

0

設備あ

毛

ルテホ泉温

合自動

洲唯 樂

の温泉場

エリ化粧に、

すに散らばつてゐた。 眼には凝の痕が熱く浸んで、睫

怖ろしいかです。 エリの 5, 11-17 195

兵庫縣明石市中

加古中風

緊縮節約の折柄 は至極清鮮の物を特に選擇して差上げます 特に宿料の勉強と親切叮

大自然の光線を浄化して大自然の光線を浄化して大自然の光線を浄化して

○療院開設自由 希望者照會あれる技術器能、肺肋膜、皮膚病、外科、内科結核器症、肺肋膜、皮膚病、外科、内科結核器症、肺肋膜、皮膚病、外科、内科 治療院

地下

室食堂

封入申込あれ)電 話 九六五五番 散田書送料四錢)大連聖德街三丁目

大

連

一番よく効くものは(治療毎日)

滿鲜一手配給元

直鐵

道

音器を求め

6

は早計な

市

(説明書送早)

佐々 **運搬** 翠

健康增進 真正 18溢血の前頭

榮

養

0

軍 手 卸現 賣金

19. 鳴、鳴の用意がしてあります 其他 鶏、鴨、鳴の用意がしてあります 其他 鶏、鴨、鳴の用意がしてあります 山帝 本源町市場

營省下 電話四五七番行

ハリ灸、マッサージ、あんぶっ 辨天堂ま風呂崎大連市美濃町二五電六六八八

しんあんま

ラ食堂電話にはいる四番 婦科 内沿科科 (需 應 院 院醫嬌高

本器を試験せずに蓄音器を求 先渡器械絕對保證 中ケ月々賦販賣 -の位本側樣客御 ジュラツ シア解苦音器

元入輸

に天ぷらに 四合 四合瓶四合瓶 合瓶

升

罐

調イ油油

瓶

製

油

株

式

會

祉

高

聯御櫻 味 味 味

干鹽味噌 噌噌噌 外 東市信 側す か赤赤赤赤 百久 百百多多多 金十四錢 鐵光八錢

電話 加上Och 番 洋

を合

學士 横 井 謙 介學士 小野 木 孝 治

ー・言葉もかけてはくれてかったも を表すがなかったのだらうか?何んさ だなすが見せて

多田やホテルの

深庭專門藥院

た

h

2

ルヤ薬店

際 松尾 はり

元四七八番

◆上等鷄

上等口

ースすきやき

く普通の

浪速町

サ

ク

零寄

ダ鍋(普通)

期 チリー人前は六十銭ですご但と三人様以上

市也

ない時間、彼女・崎りにも運命でしまったが、財闘の人たちの不しまったまと、身動きもされなかったが、財闘の人たちの不

でものがあった。

佐志醫院

電話六五〇二番

婦産囚 火 科科科

し奥は、お風出へお召もにな

は、ごうやう誤難化して は、ごうやう誤難化して なれば、 医師の人たちので 球点だ心に 鞭打つて、 それは、 ごうやう誤難化して

て、自分の室の係の女

中が突立つてるた。自分

京子は、此の間、星ケ間のホテ

思った。

もないほご眠いものであると此の自分の肉酸は、もう云ひ

一件木真

州疾に

胃時障害……絶無 差数 的 奏 效

放とびとりのの歌語

大関連条打二

あつさりと

全しないきましたよ、

ーシンのききめには、

頭

痛

にはテキメ

7

です

な

000



JANUARY

高調する禮節の表現ですの大字と 何れは貴下の氣品をの芳香! 何れは貴下の氣品を 新人としての近代的感覚の風彩

岩

季平山阿金小申 店行會店行行行

角町速浪町勢伊市連大 店本會商榮 番〇九三人話電

横野井木 井 北门建築事務所 野木 北门建築事務所 大連市紀伊町建築協會三階